

2023年4月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第220号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携支援事業

☆NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

総会および第1回セミナー (予告)

開催日時：2023年6月23日(金)

総会 14:00～15:00

第1回セミナー 15:30～16:40

開催場所および開催方法：「ウイックあいち」会場および Zoom Webinar による
オンライン開催の併用型

講演内容：

演題 「食料の安全保障について(仮題)」

講師 東京大学大学院 教授

一般財団法人食料安全保障推進財団 理事長 鈴木宣弘 氏

☆個別相談について

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会では個別相談を日常的に実施しています。個別相談では、競争的研究資金の獲得支援(共同研究機関の紹介、提案内容の検討、提案書のブラッシュアップ)、事業化支援などを行っています。

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等(オンライン開催があるもの)

☆2023年度 農林交流センターワークショップの開催予定一覧表

・農林水産技術会議HP：

<https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/attach/pdf/index-2.pdf>

※内容や参加方法の詳細についての記載はありません。

.....

4. 2023年度の競争的研究資金について

☆研究成果最適展開支援プログラム 産学共同(育成型) (JST)

https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/2023_ikusei.html

☆研究成果最適展開支援プログラム 産学共同(本格型) (JST)

https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/2023_honkaku.html

.....

5. その他の情報

(1)新技術情報

☆農業機械関係

○急傾斜 45 度対応のリモコン草刈機～強く、早く、小さい！中山間でも安全作業～

「農業技術 10 大ニュース」として「急傾斜 45 度対応のリモコン草刈機」が選定されました。これは、株式会社 IHI アグリテック、農研機構および福島県農業総合センターにより開発されました。特徴は、リモコン操作で 45 度の傾斜地でも作業でき、国産の小型機種として初めてハンマーナイフ式が採用された草刈機です。茎が太く 1m を超える雑草等にも対応可能で、平地、傾斜地ともに既存の小型草刈機の 50%程度に作業時間が短縮されます。2022 年 6 月から市販開始されています。

・農林水産技術会議 HP:

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/attach/pdf/221226-6.pdf>

☆果樹関係

○渋皮が簡単に剥ける早生のニホングリ新品種 「ぼろすけ」

「最新農業技術・品種 2022」のひとつとしてニホングリ新品種 「ぼろすけ」が選定されました。特徴は、「ぼろたん」と相互に受粉可能で「ぼろたん」の約 1 週間前に収穫できる渋皮の剥きやすい早生品種で、農研機構果樹茶業部門により育成されました。「ぼろすけ」は「ぼろたん」と同様に、鬼皮に傷を入れて加熱するだけで、渋皮を簡単に剥くことができます。「ぼろすけ」と「ぼろたん」を混植することで、渋皮の剥きやすい果実だけを安定生産する圃場を作ることができます。渋皮が剥きやすい品質については需要に応えうる特性を備えており、現在流通している「ぼろたん」との相互授粉が可能なことなどから、剥皮性の優れた品種の普及拡大に貢献が期待されます。

・農林水産省 HP:

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/new_tech_cultivar/2022/2022seika-11.html

(2)予算情報

☆令和 5 年度農林水産予算概算決定の概要

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r5kettei.html>

編集後記

4 月に入り、この東海地域の桜の花も多くが終盤となってきました。今年は 3 月の気温が平年より 3℃程度高く、これにより桜の開花が早まりました。また、早場米産地の中でも特に早い収穫を目指す地域からは田植えの情報も入ってきています。新しい年度に入り、新しい生活が始まった方も多いと思われます。この東海生研におきましては、事務局長が交代し、また、新しい職員も入ってきました。まだ、仕事のペースがつかめず落ち着かない状況ですが、令和 5 年度もよろしく願いいたします。

=====
《メールマガジンに関するお問い合わせは》=====
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp （*を@に書き換えてください）

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2023年5月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第221号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携支援事業

☆NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

総会および第1回セミナー (予告)

開催日時：2023年6月23日(金)

総会 14:00～15:00

第1回セミナー 15:30～16:40

開催場所および開催方法：「ウインクあいち 1201会議室」

会場および Zoom Webinar によるオンライン開催の併用型

講演内容：

演題 「日本の食料安全保障について」

講師 鈴木宣弘氏

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

一般財団法人食料安全保障推進財団 理事長

なお、参加申込み等の詳細は、下記の当研究会のホームページにてご確認下さい。

<https://www.biotech-tokai.jp/archives/6128>

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示「植物防疫法の改正について」(4月27日～5月17日まで)

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyas/tokubetsu/index.html>

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等(オンライン開催があるもの)

☆2023年度 農林交流センターワークショップ

1. 「栽培環境における気温の観測技法と利用」

開催日：2023年6月21日(水曜日)～6月23日(金曜日)

・農林水産技術会議 HP：

https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/event/workshop/ws_2023/235ws.html

2. 「メッシュ農業気象データ利用講習会(オンライン講習会)」

開催日：2023年6月21日(水曜日)～6月23日(金曜日)

・農林水産技術会議 HP：

https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/event/workshop/ws_2023/236ws.html

.....
4. 2023 年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和 5 年度戦略的国際共同研究推進委託事業のうち
二国間国際共同研究事業（ドイツとの共同研究分野）」

https://www.affrc.maff.go.jp/kokusaikenkyu/bilateral_research_cooperation_r5.html

- 分野等：1. 植物衛生及び防疫
2. 動物疾病の予防及び管理

公募期間：2023 年 3 月 28 日～5 月 15 日

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和 5 年度戦略的国際共同研究推進委託事業のうち二
国間国際共同研究事業（タイとの共同研究分野）」

https://www.affrc.maff.go.jp/kokusaikenkyu/bilateral_research_cooperation_r5.html

- 分野等：1. スマート農業技術を活用した植物病虫害防除
2. スマート農業の進展に資する動物疾病対策

公募期間：2023 年 3 月 28 日～5 月 31 日

☆国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援セン
ター：「令和 5 年度 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）（第 3 期）課題「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」」

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/sip/sip2/koubo/2023.html>

- 分野等：1. 植物性タンパク質（大豆）の育種基盤構築と栽培技術確立
2. 肥料の国内循環利用システム構築
3. 動物性タンパク質（水産物）の次世代養殖システム構築
4. 国産大豆等を利用した豊かな食設計システムの開発
5. 行動科学のアプローチを用いた質の高い食生活の実現に向けた研究開発

公募期間：2023 年 4 月 14 日～5 月 18 日

☆独立行政法人環境再生保全機構：「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第 3 期
「サーキュラーエコノミーシステムの構築」」

<https://www.erca.go.jp/erca/sip/index.html>

- 分野等：1. 循環市場の可視化・ビジネス拡大を支えるデジタル化・共通化
2. 資源循環の拡大を促す動静脈・静動脈連携
3. 循環性向上と可視化のためのプラットフォーム整備

公募期間：2023 年 4 月 18 日～5 月 26 日

☆JST：「経済安全保障重要技術育成プログラム 2022 年度第 3 回研究開発課題公募」

<https://www.jst.go.jp/k-program/koubo/index.html>

- 分野等：1. 量子技術等の最先端技術を用いた海中（非 GPS 環境）における高精度航法技
術・量子技術等の最先端技術を用いた海中における革新的センシング技術
2. 空域利用の安全性を高める複数の小型無人機等の自律制御・分散制御技術及

び検知技術

3. 生体分子シークエンサー等の先端研究分析機器・技術

公募期間：2023年3月30日～6月8日

☆JST：「2023（令和5）年度 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP 実装支援（返済型）」

<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/hensai.html>

分野等：大学等の研究成果の社会実装を目指す、ベンチャー企業等による実用化開発を、開発費の貸付により支援する。出資（エクイティ）と異なり、株式を発行せずに調達可能な資金（デット）として、ベンチャー企業等に利用いただくことを想定している。

公募期間：2023年4月1日～2024年3月31日（随時、応募相談・選考を行い採否を判定する）

☆JST：「大学発新産業創出基金事業 可能性検証」

<https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/index.html>

分野等：研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）トライアウトで行ってきた地域の大学等の基礎研究成果による企業ニーズの達成を目指す支援に加えて、大学等の成果に基づくスタートアップ等の創出も視野に入れた実用化の可能性も検証する。

公募期間：2023年4月4日～5月25日

☆JST：「大学発新産業創出基金事業 令和5年度 プロジェクト推進型 起業実証支援」

<https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/index.html>

分野等：大学等にて、事業プロモーターのマネジメントのもと、市場や出口を見据えて事業化を目指した研究開発プロジェクトを支援する。事業化に必要な研究開発に関わる活動に公的資金を提供し、プロジェクト終了時を目途に民間資金を活用しながら大きく成長するスタートアップの創出を目指す。

公募期間：2023年4月4日～5月31日

☆JST：「2023年度（令和5年度）社会技術研究開発事業 SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（シナリオ創出フェーズ、ソリューション創出フェーズ）」

https://www.jst.go.jp/ristex/proposal/proposal_2023.html

分野等：SDGsの達成に向けて、地域における社会課題に対するソリューションを創出するため、既に得られている技術シーズを活用したSDGsの達成のアイデアを元に、研究者（自然科学、人文学、社会科学）と社会課題に取り組む当事者（協働実施者）と一緒に研究開発を行う。

公募期間：2023年4月6日～6月7日

☆JST：「2023年度戦略的創造研究推進事業（さきがけ）（ACT-X）（CREST）」

<https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian.html>

（さきがけ）

分野等：海洋バイオスフィア・気候の相互作用解明と炭素循環操舵、地球環境と調和し

うる物質変換の基盤科学の創成 等

公募期間：2023年4月11日～5月30日

(ACT-X)

分野等：生命現象と機能性物質 等

公募期間：2023年4月11日～5月30日

(CREST)

分野等：海洋とCO₂の関係性解明から拓く海のポテンシャル、データ駆動・AI駆動を中心としたデジタルトランスフォーメーションによる生命科学研究の革新 等

公募期間：2023年4月11日～6月6日

☆NEDO：「バイオものづくり革命推進事業」

https://www.nedo.go.jp/koubo/EF2_100206.html

- 分野等：1. 未利用資源の収集・資源化のための開発・実証
2. 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化
3. 微生物等による目的物質の製造技術の開発・実証
4. 微生物等によって製造した物質の分離・精製・加工技術の開発・実証
5. バイオものづくり製品の社会実装のための評価手法等の開発

公募期間：2023年3月31日～6月13日

☆NEDO：「ディープテック・スタートアップ支援基金/ディープテック・スタートアップ支援事業」

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100404.html

分野等：技術の確立や事業化・社会実装までに長期の研究開発と大規模な資金を要し、リスクは高いものの国や世界全体で対処すべき経済社会課題の解決にも資すると考えられる革新的な技術の研究開発に取り組んでいる「ディープテック・スタートアップ」を対象とした助成事業の公募を行う。VC等との協調やステージゲート審査の活用を制度上盛り込み、長期的視野でもって、実用化研究開発や量産化実証、海外技術実証などへの支援を行う。

公募は通年で実施し、年4回程度、提案受付期間を設定し、その都度、審査を実施する予定。提案受付期間等は、NEDOのHPに掲載する「ディープテック・スタートアップ支援事業 公募に係る日程一覧」において定める。なお、第1回の提案受付期間は2023年5月15日～2023年5月25日正午とする。

公募期間：2023年3月31日～2028年3月31日

☆国立研究開発法人日本医療研究開発機構：「令和5年度創薬基盤推進研究事業（2次公募）」

https://www.amed.go.jp/koubo/11/01/1101B_00041.html

分野等：薬用植物国産化・利活用の実装化に向けた産地形成に資する研究 等

公募期間：2023年2月20日～5月22日

☆公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「2023年度試験研究助成」

<https://www.krf.or.jp/category/guide/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野 等

公募期間：2023年1月6日～8月31日

☆一般財団法人中辻創智社：「2023年度研究費助成」

<https://nakatsuji-ff.org/programs/research-grant/>

分野等：自然環境保全を担う生物学領域の中心的分野である生態学、分類学、及びこれらを支える基礎生物学。

公募期間：2023年4月7日～6月10日

☆公益財団法人住友電工グループ社会貢献基金：「2023年度学術・研究助成」

<https://www.sei-group-csr.or.jp/business/research/>

分野等：自然科学・工学や社会科学の先進的、独創的な研究に助成を行う。資源・エネルギーの確保、地球環境保護、世界人口の増加と水食料不足、長寿高齢化社会の到来、経済格差の拡大等、現代の重要課題の解決に向けたテーマを対象とする。

公募期間：2023年3月31日～6月9日

☆公益信託四方記念地球環境保全研究助成基金：「2023年度研究助成」

<http://www.jwrc.or.jp/service/shintaku/shikata.htm>

分野等：下記のいずれかをテーマとした、海外を場とした現地での調査を中心とする独立した研究

1. 熱帯雨林の減少、砂漠化の進行等の地球規模の自然環境問題に関する調査・研究
2. 絶滅のおそれのある生物等の生態及びその保護・回復に関する調査・研究
3. 人間の生活と両立する自然環境、野生生物等の管理手法に関する調査・研究

公募期間：2023年6月2日まで

☆公益財団法人近藤記念財団：「令和5年度（2023年度）「炭素材料」に関する研究助成」

<https://www.kondo-zaidan.or.jp/research/application>

分野等：「炭素材料」に関する基礎研究、応用研究及び周辺技術

公募期間：2023年4月1日～5月31日

☆エスペック株式会社：「2023年度 公益信託エスペック地球環境研究・技術基金（エスペック環境研究奨励賞）」

<https://www.espec.co.jp/sustainability/fund/>

分野等：地球環境問題の解決に資する調査研究および技術開発

公募期間：2023年4月1日～5月31日

☆公益財団法人ロッテ財団：「第11回（2024年度）研究助成事業「奨励研究助成」・「研究者育成助成」（ロッテ重光学術賞）」

<https://www.lottefoundation.jp/grant/summary01.html>

分野等：（自然科学研究分野）

1. 食の生産から食卓まで（食に関するSDGs課題）
2. 食を味わう/楽しむ（食によるQOL向上）
3. 食と生命（食による疾病予防、健康増進、ウェルビーイング）

4. 食と健康を支える情報科学
(人文/社会科学研究分野)
5. 食文化研究
6. 食に関する経済・政策研究
7. 食と生活についてのリサーチ・分析等
(その他)
8. 1～7 の分野横断的研究

公募期間：「奨励研究助成」2023年4月1日～5月26日

「研究者育成助成」2023年4月1日～6月23日

☆公益財団法人島津科学技術振興財団：「2023年度研究開発助成」

<https://www.shimadzu.co.jp/SSF/research.html>

- 分野等：1. 科学計測に係る領域全般
2. 科学計測に係る新分野「先進情報技術を用いた計測技術・解析技術の前線開拓分野」

公募期間：2023年4月1日～7月31日

☆公益財団法人井上科学振興財団：「第16回（2024年度）井上リサーチアワード」

<http://www.inoue-zaidan.or.jp/f-03.html>

- 分野等：自然科学の基礎的研究で優れた業績を挙げ、更に開拓的発展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援することを目的とし、これまでの成果を踏まえ、単独で又は共同研究者の協力を得て行う将来性豊かな研究計画を対象として助成する。

公募期間：2023年4月1日～7月31日

☆公益財団法人トヨタ財団：「2023年度研究助成プログラム」

<https://www.toyotafound.or.jp/research/2023/>

- 分野等：つながりがデザインする未来の社会システム

公募期間：2023年4月7日～6月9日

☆公益財団法人マツダ財団：「第39回（2023年度）マツダ研究助成」

https://mzaidan.mazda.co.jp/bosyu/science_serach/index.html

- 分野等：助成の対象は、現在ならびに将来にわたって解決が求められている科学技術に関する基礎研究および応用研究とする。特に次のような研究分野の先進的・独創的な研究を期待する。

1. 機械に係わる研究分野
2. 電子・情報に係わる研究分野
3. 化学系材料に係わる研究分野
4. 物理系材料に係わる研究分野

また、上記各研究分野において、循環・省資源に寄与する研究を歓迎する。

公募期間：2023年4月10日～5月31日

☆公益財団法人泉科学技術振興財団：「2023年度研究助成」

https://www.izumi-zaidan.jp/boshuu_youkou/kennkyu_boshu.html

分野等：高度機能性材料及びこれに関連する科学技術の基礎研究分野における、真に独自の発想に基づいた新しい研究に対する助成。

公募期間：2023年6月15日（必着）

☆公益財団法人中部電気利用基礎研究振興財団：「令和5（2023）年度助成」

<http://www.refec.org/oubo2021.htm>

分野等：電気、電子、情報、通信、応用物理、土木、建築、機械、応用化学、メカトロニクス、新素材、エネルギー、環境、バイオ、複雑系科学、農水産、家政、保健衛生、技術史等の他、電気の効果的な利用の拡大に関連する基礎研究

公募期間：2023年9月20日（必着）

☆一般財団法人日本宇宙フォーラム：「2023年度みちびきを利用した実証事業」

https://qzss.go.jp/info/information/applidemo_230414.html

分野等：内閣府は準天頂衛星システムサービス株式会社と連携し、準天頂衛星システム「みちびき」を利用した多種多様な製品・サービスが早期に提供される環境の整備のため、実際の利用環境を想定して行う実証事業に取り組む企業及び高専・大学等を募集する。

公募期間：2023年4月14日～5月31日

☆公益財団法人住友財団：「2023年度基礎科学研究助成」

<http://www.sumitomo.or.jp/>

分野等：理学（数学、物理学、化学、生物学）の各分野及びこれらの複数にまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの（それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む）

公募期間：2023年4月15日～6月30日

☆公益財団法人住友財団：「2022年度環境研究助成」

<http://www.sumitomo.or.jp/>

分野等：1. 一般研究：環境に関する研究（分野は問わない）
2. 課題研究：2023年度募集課題「激動の時代における環境問題の理解および解決のための学際研究または国際共同研究」

公募期間：2023年4月15日～6月30日

☆公益財団法人JFE21世紀財団：「2023年度技術研究助成」

<http://www.jfe-21st-cf.or.jp/furtherance/entrance.html>

分野等：1. 鉄鋼技術研究
2. 地球環境・地球温暖化防止技術研究

公募期間：2023年4月17日～6月26日

☆公益財団法人三菱UFJ技術育成財団：「2023年度第1回研究開発助成金」

<https://www.mutech.or.jp/>

分野等：現在の技術から見て新規性があるプロジェクトで、以下のいずれかに該当し、

原則として2年以内に事業化の可能性のあるもの。

1. 産業経済の健全な発展と国民生活の向上に資すると認められる新技術・新製品及び関連する設備・部品・原材料等の開発に関するもの
2. 1に準ずるもの。

公募期間：2023年4月20日～5月20日

☆公益財団法人サントリー生命科学財団：「2023年度SUNBOR GRANT」

<https://www.sunbor.or.jp/news/230417/>

分野等：生物有機化学が拓く、生物個体間コミュニケーションに関わる研究に関連する課題

公募期間：2023年4月17日～6月19日

☆公益財団法人東洋食品研究所：「2023年度食品研究助成金」

<https://www.shokuken.or.jp/subsidize/>

分野等：

1. 一般研究助成
 - 1) 食品資源に関する分野：農産原料栽培、育種、水産・畜産資源等に関する研究等
 - 2) 食品科学に関する分野：機能・栄養、食品物性、食品のおいしさ（食感・味）等に関する研究等
 - 3) 食品加工に関する分野：製造・加工、調理、殺菌、容器包装・保存、流通等に関する研究等
2. 法人設定テーマ研究助成
 - 1) 高齢化社会に向けた食品関連研究：身体機能維持、介護食・その製造方法等
 - 2) 食品需給課題に関する食品資源研究：未利用資源の有効活用、代替肉など新たなタンパク質供給源開発等
 - 3) 食品廃棄物削減に関する研究：消費期限延長・常温流通化など食品ロス削減、非可食部の有効利用等
 - 4) 食品評価技術向上に関する研究：培養細胞利用評価技術、風味評価技術、物性・テクスチャー評価技術等

公募期間：2023年5月1日～7月31日

☆公益財団法人日本発明振興協会：「令和5年度発明研究奨励金」

<http://www.jsai.org/>

分野等：発明考案の試験研究であって、次の事項に該当し、その発明考案の実施化もしくは展開に必要と認められるものを交付対象とする。

1. 特許権として登録済みのもの。
2. 特許を出願し、既に公開され、かつ審査請求済みのもの。但し、係争中のものは除く。
3. 実用新案は、登録済みで実用新案技術評価書入手済みのもの。

公募期間：2023年5月1日～7月31日

☆公益財団法人大隅基礎科学創成財団：「第7期研究助成」

<https://www.ofsf.or.jp/activity/>

分野等：

1. 基礎科学（一般）

細胞・組織・個体の新しい生理現象の発見とその分子機構の解明、をテーマとする基礎研究を支援する。

2. 基礎科学（酵母）

酵母野生株で見いだした新しい生理現象、あるいは変異株や薬剤・化合物存在下に見いだした現象であっても酵母野生株の生理現象に還元できる新しい現象の発見、もしくはこれまであまり研究の対象とされてこなかった生理現象、およびこれらの分子機構の解明等、人類と深い関わりのある酵母を対象としたこの生物種ならではの基礎研究をテーマとして支援する。

公募期間：2023年5月8日～7月3日

☆公益財団法人コーセーコスメトロジー研究財団：「2023年度コスメトロジー研究助成」

https://www.kose-cosmetology.or.jp/research_support/researchSupport3.html

分野等：コスメトロジーまたは関連する諸分野の基礎研究や応用研究

公募期間：2023年5月8日～7月7日

【研究開発関連以外】

☆中小企業庁（事務局：株式会社ソーシャル・エックス）：「令和5年度地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業補助金」

https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/chiiki_kigyuu_kyousei/2023/20230424kobo.html

分野等：地域の単独もしくは、複数の中小企業等が地域内外の関係主体と連携しつつ、複数の地域に共通する地域・社会課題について、技術やビジネスの視点を取り入れながら、複数地域で一体的に解決しようとする事業（実証プロジェクト）について、その経費の一部を補助することにより、中小企業者等の地域・社会課題解決と収益性との両立を目指す取組である「地域と企業の持続的共生」を促進し、地域経済の活性化を実現することを目的とする。

公募期間：2023年4月24日～5月23日

.....

5. その他の情報

☆令和5年度（第19回）「若手農林水産研究者表彰」における候補者の募集開始について

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/230414_11.html

☆令和5年度（第24回）「民間部門農林水産研究開発功績者表彰」における候補者の募集開始について

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/230414_12.html

☆令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算「戦略的スマート農業技術の開発・改良」の採択結果が4月19日（水）に発表されました。

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/press/158031.html>

.....
編集後記

新年度も1か月が経過しました。ゴールデンウィークも終わってしまい、仕事に集中できる時期になってきたのではないのでしょうか。さて、東海生研では、新年度の最初のイベントとして第1回セミナーを6月23日に開催します。今回は、日本の食料安全保障というテーマで東京大学大学院農学生命科学研究科教授・一般財団法人食料安全保障推進財団理事長の鈴木宣弘先生にご講演をお願いしました。世界情勢が不安定にある中、食料安定供給の危機的な状況に対して考えるべきことについてご教示していただきます。どうぞふるってご参加ください（会場参加の他、オンライン参加も可能です）。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2023年6月12日発行

東海生研 ～メールマガジン 第222号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会の事業

☆総会および第1回セミナー

開催日時：2023年6月23日（金）

総会 14：00～15：00

第1回セミナー 15：30～16：40

開催場所および開催方法：「ウインクあいち 1201会議室」

会場および Zoom Webinar によるオンライン開催の併用型

講演内容：

演題 「日本の食料安全保障について」

講師 鈴木宣弘氏

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

一般財団法人食料安全保障推進財団 理事長

参加費 無料

参加の申込み期限は6月13日です。詳細は、下記の当研究会のホームページにてご確認下さい。

<https://www.biotech-tokai.jp/archives/6128>

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示 6月5日～6月15日まで 「牛乳月間」

6月19日～6月30日まで 「食育月間」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heya/tokubetsu/index.html>

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

.....

4. 2023年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

☆国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構：「ペレット堆肥の広域流通促進モデル実証（第2回公募）」

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/158368.html

分野等：豚ふん・鶏ふんを用いたペレット堆肥の広域流通促進モデル実証

公募期間：2023年5月24日～7月3日

☆環境省：「令和5年度地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業（二次公募）」

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/r5co2_2.html

分野等：環境省は、大幅なCO2排出削減及び「地域循環共生圏」の構築に向け、大幅なCO2排出削減に資する技術を社会に導入していくために、将来的な地球温暖化対策の強化につながり、各分野におけるCO2削減効果が相対的に大きいものの、民間の自主的な取組だけでは十分に進まない技術の開発・実証について、民間企業、公的研究機関、大学等からの提案を募集し、外部専門家から成る委員会において選定し、委託又は補助により実施する。

公募期間：2023年5月26日～7月6日

☆総務省：「令和5年度戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）（第2回）」

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban09_02000477.html

分野等：電波有効利用促進型研究開発

公募期間：2023年6月1日～30日

☆文部科学省：「令和6（2024）年度科学研究費助成事業（学術変革領域研究（A・B）」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1394561_00007.htm

分野等：

1. 学術変革領域研究（A）

多様な研究者の共創と融合により提案された研究領域において、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化や若手研究者の育成につながる研究領域の創成を目指し、共同研究や設備の共用化等の取組を通じて提案研究領域を発展させる研究。

2. 学術変革領域研究（B）

次代の学術の担い手となる研究者による少数・小規模の研究グループ（3～4グループ程度）が提案する研究領域において、より挑戦的かつ萌芽的な研究に取り組むことで、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化につながる研究領域の創成を目指し、将来の学術変革領域研究（A）への展開などが期待される研究。

公募期間：2023年4月13日～6月19日

☆独立行政法人日本学術振興会：「令和6（2024）年度科学研究費助成事業（特別推進研究、基盤研究（S）」

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/toku_s.html

分野等：

1. 特別推進研究

新しい学術を切り拓く真に優れた独自性のある研究であって、格段に優れた研究

成果が期待される一人又は比較的少人数の研究者で行う研究。

2. 基盤研究 (S)

一人又は比較的少人数の研究者が行う独創的・先駆的な研究

公募期間：2023年4月13日～6月19日

【研究開発関連以外】

☆独立行政法人日本学術振興会：「令和5年度 地域中核研究大学等強化促進基金助成金
(地域中核・特色ある研究大学強化促進事業)」

https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/mext_00306.html

分野等：「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」は、日本全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進していくために、大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援と並行して行う事業。地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした経営戦略の下、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を図る環境整備を支援することにより、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としている。

公募期間：2023年5月26日～7月26日

☆上記以外の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧ください。

東海生研ホームページの NEWS (お知らせ) の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1) 技術情報

☆「農業技術の基本指針」(令和5年5月)の公表について(令和5年5月12日)

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo03/230512.html>

☆「みどりの食料システム戦略」の実現に貢献する技術！～技術カタログ(Ver. 3.0)の公開！～(令和5年5月26日)

農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」の実現に貢献する技術をとりまとめ、「技術カタログ」として公表しており、今般、新たに58件の「現在普及可能な技」を追加した「Ver. 3.0」を公開しました。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo03/230526.html>

(2) 募集情報

☆令和5年度(第19回)「若手農林水産研究者表彰」における候補者の募集開始について

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/230414_11.html

☆令和5年度(第24回)「民間部門農林水産研究開発功績者表彰」における候補者の募集開始について

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/230414_12.html

.....

編集後記

例年よりかなり早く梅雨入りとなり、うっとうしい時季となりました。ただ、新型コロナウイルス感染症が「5類」に引き下げられ、少しは重い雰囲気から解放されたのではないのでしょうか。一方、最近全国各地で大きな地震が頻発しています。また、5月でありながら、所によっては最高気温が35℃以上の猛暑日となる日もありました。新型コロナウイルスや地震、さらには台風・大雨も含めて自然から受ける影響の大きさを痛感します。自然の変化とうまく付き合っていかなければいけないのでしょうか、科学技術の進歩にも期待したいところです。

さて、東海生研の新年度の最初のイベントである第1回セミナーの開催が今月23日に迫ってきました。今回は、東京大学大学院農学生命科学研究科教授・一般財団法人食料安全保障推進財団理事長の鈴木宣弘先生に「日本の食料安全保障」というテーマでご講演をお願いしました。申込期限は今月13日です。どうぞふるってご参加ください（会場参加の他、オンライン参加も可能です）。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2023年7月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第223号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第2回セミナーの開催

当研究会は、毎年、農林水産・食品産業に関わる5つの専門部会の新技術等に関する講演会を開催しています。概要は下記のとおりですのでご案内致します。多数のご参加をお待ちしています。

【開催日時】2023年8月25日(金) 12:30～16:10

【開催場所】ウインクあいち12階1201会議室(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

【開催方法】会場参加及びオンライン(Zoom Webinar)参加のハイブリッド開催

【講演部門】

○食品部会 12:40～13:20 《リモート講演》

「食品輸出と認証 -イスラム圏への食品輸出におけるハラール認証-

佐久間 朋宏 氏(一般社団法人ハラール・ジャパン協会 代表理事)

○畜産部会 13:20～14:00 《リモート講演》

「持続可能な畜産:ウシからのメタン生成削減技術」

西田 武弘 氏(帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 教授)

=休憩 10分=

○作物部会 14:10～14:50

「スマホで利用できる診断に基づく大豆栽培改善技術導入支援マニュアル」

大野 智史 氏

(農研機構 中日本農業研究センター 作物生産システムグループ長)

○林産部会 14:50～15:30

「木材-プラスチック複合材料の開発」

青木 憲治 氏(静岡大学 グローバル共創科学部 准教授)

○水産部会 15:30～16:10

「アサリ湧く豊かな伊勢湾・三河湾に」

蒲原 聡 氏(元愛知水産試験場)

*名刺交換会 16:10～16:40 予定

セミナー終了後、会場内にて名刺交換会をいたします。

【申し込み方法】

参加申し込みは、事務局 岩佐精二宛にメールでお送りください。

メールアドレスは npo-tokai*ab.auone-net.jp *を@にしてください

件名は『東海生研第2回セミナー参加』としてください。

Zoom WebinarのURLは8月18日を目途にいただきましたメールアドレスにURLを連絡します。当日はそのURLからライブ配信をご覧ください。

【締切・定員】参加申し込みの方は8月9日（水）までにお申し込みください。

会場参加の定員は100名、Zoom Webinarの定員は100名です。

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

後援：名古屋大学大学院生命農学研究科 農研機構 中日本農業研究センター JATAFF

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆「食料・農業・農村政策審議会 基本法検証部会 地方意見交換会」を開催します（東海ブロック）

食料・農業・農村政策審議会基本法検証部会では、令和5年7月28日に愛知県名古屋市において「食料・農業・農村政策審議会基本法検証部会地方意見交換会」を開催し、食料・農業・農村基本法の検証・見直しに関する意見交換を行います。

【開催日時】令和5年7月28日（金）13時30分から15時30分まで（受付13時から）

【場所】TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口（バンケットホール9A）

愛知県名古屋市中村区椿町1-16 井門名古屋ビル

【開催方法】Webex MeetingsによるWeb参加併用

【申込方法】インターネット

<https://www.maff.go.jp/tokai/press/kikaku/230622.html>

☆今こそ Made in Japan を世界へ 輸出セミナー&個別相談会を開催します

【日時】令和5年7月20日（木）13時30分から16時30分（受付時間13時から）

第1部：輸出セミナー 13時30分から15時20分

第2部：個別相談会 15時30分から16時30分

【場所】株式会社愛知銀行名古屋駅前ビル3階多目的ホール

（愛知県名古屋市中村区名駅4-22-20）

【開催方法】集合形式ならびにオンライン形式併用のハイブリッド方式

【申込方法】インターネット

https://www.maff.go.jp/tokai/press/renkei/230620_20.html

☆東海 GFP 事務局主催 第2回輸出スキル向上入門セミナー

開催日時：令和5年8月9日（水曜日）14時00分から15時30分

開催方法：オンライン

参加対象者：これから輸出に取り組む東海地域の事業者、輸出を始めたばかりの東海地域の事業者

セミナー概要：これから輸出に取り組む事業者が押さえておきたい基礎知識を習得。

「自社の輸出戦略」など、計画的な戦略思考を習得。

専門家講演：山本 雄彦 氏（ジェトロ輸出プロモーター事業専門家、株式会社 GOOMAX、
ニュージーランド農産物販売株式会社）

支援機関講演：母良田 政秀 氏（独立行政法人日本貿易振興機構 名古屋貿易情報セン
ター）

<https://www.maff.go.jp/tokai/keiei/renkei/export/tokaigfp.html#seminar>

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示 7月4日～7月20日まで 「知っておきたい食品表示」

7月24日～8月30日まで 「農山漁村のはたらきと未来」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyu/tokubetsu/index.html>

.....

3. 2023年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

☆環境省（執行団体：一般社団法人静岡県環境資源協会）：「令和5年度地域共創・セク
ター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業（うちスタートアップ企業に対
する事業促進支援事業）に係る間接補助事業の公募」

https://www.env.go.jp/press/press_01738.html

分野等：スタートアップを主とした中小企業等が行うエネルギー起源二酸化炭素の排出
抑制に資する研究開発事業等を支援することにより、新規産業の創出・成長に
よる脱炭素社会の実現に資することを目的としている。

公募期間：2023年6月12日～7月14日

☆経済産業省：「令和5年度 成長型中小企業等研究開発支援事業（第2回）」

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2023/230606kobo.html>

分野等：中小企業者等が、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けて、大学・
公設試等と連携して行う研究開発等。

公募期間：2023年6月6日～7月24日

☆農林水産省（技術会議事務局）：

「令和5年度戦略的国際共同研究推進委託事業のうち二国間国際共同研究事業（スロベ
ニア共和国との共同研究分野）」

https://www.affrc.maff.go.jp/kokusaikenkyu/bilateral_research_cooperation_r5_slovenia.html

分野等：

1. 持続可能な林業・森林管理
2. 生産力向上と持続性の両立に資する農業技術に係る研究

公募期間：2023年6月14日～7月28日

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和5年度放射性物質測定調査委託事業」

https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html

分野等：福島県及びその周辺における農畜産物及び土壌の放射能汚染レベルの動向把握

公募期間：2023年6月14日～8月15日

☆農林水産省（技術会議事務局）：

「令和5年度放射能調査研究委託事業のうち「農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明」

https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html

分野等：農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明

公募期間：2023年6月14日～8月15日

☆総務省（業務実施機関：(株)角川アスキー総合研究所）：

「令和5年度スタートアップ創出型萌芽的研究開発支援事業」

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000376.html

分野等：先端的なICTを創出・活用する次世代の産業の育成を目指し、公募を経て選ばれた、起業や事業拡大を目指す個人またはスタートアップによる、ICTに関する研究開発に対して研究開発費を支援するとともに、全国各地・各分野の支援機関ネットワークを活用した伴走支援を行い、官民の役割分担の下、芽出しの研究開発から事業化までの一気通貫での支援を実施する。

公募期間：2023年6月19日～7月31日

【研究開発関連以外】

☆独立行政法人日本学術振興会：「令和5年度 地域中核研究大学等強化促進基金助成金（地域中核・特色ある研究大学強化促進事業）」

https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/mext_00306.html

分野等：「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」は、日本全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進していくために、大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援と並行して行う事業。地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした経営戦略の下、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を図る環境整備を支援することにより、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としている。

公募期間：2023年5月26日～7月26日

☆上記以外の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧ください。

東海生研ホームページのNEWS（お知らせ）のURL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

4. その他の情報

(1) 技術情報

☆「スプレー愛知秋2号」を開発しました～新品種で産地の更なる発展を目指します～
愛知県農業総合試験場は、スプレーギク（※1）の新品種、「スプレー愛知夏4号」

と「スプレー愛知秋2号」を開発しました。

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/nogyo-keiei-kiku2023.html>

(2) その他情報

☆「スタートアップ総合支援プログラム(SBIR 支援)」令和5年度新規採択課題の決定について(生物系特定産業技術研究支援センター 2023年6月21日)

農林水産・食品分野における政策的・社会的な課題の解決や新たなビジネス創出に向け、研究開発型スタートアップ等による研究開発及びその成果の事業化を支援する「スタートアップ総合支援プログラム(SBIR 支援)」について、令和5年度の採択課題(17課題)を決定しました。

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/press/158715.html>

.....

編集後記

当研究会の行事として、5月末の理事会、6月の企画運営委員会、総会、そして第1回セミナーがありました。それぞれが無事に終わりホッとしているところです。関係者の皆様には大変お世話になりました。研究会業務がさらに充実するよう努力してまいります。

さて、第1回セミナーに続き、第2回セミナーを8月25日(金)に開催いたします。多岐にわたる分野の最新の情報がテーマとなっています。ふるってご参加ください。

まだ梅雨明け前で不安定な天候が続きます。どうかご自愛ください。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録(無料)ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2023年8月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第224号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第2回セミナーの開催

当研究会は、毎年、農林水産・食品産業に関わる5つの専門部会の新技術等に関する講演会を開催しています。概要は下記のとおりですのでご案内致します。多数のご参加をお待ちしています。

【開催日時】2023年8月25日(金) 12:30～16:10

【開催場所】ウインクあいち12階1201会議室(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

【開催方法】会場参加及びオンライン(Zoom Webinar)参加のハイブリッド開催

【講演部門】

○食品部会 12:40～13:20 <<リモート講演>>

「食品輸出と認証 -イスラム圏への食品輸出におけるハラール認証-

佐久間 朋宏 氏(一般社団法人ハラール・ジャパン協会 代表理事)

○畜産部会 13:20～14:00 <<リモート講演>>

「ウシのゲップのメタンを減らし地球温暖化を防ぐ」

西田 武弘 氏(帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 教授)

=休憩 10分=

○作物部会 14:10～14:50

「スマホで利用できる診断に基づく大豆栽培改善技術導入支援マニュアル」

大野 智史 氏

(農研機構 中日本農業研究センター 作物生産システムグループ長)

○林産部会 14:50～15:30

「木材-プラスチック複合材料の開発」

青木 憲治 氏(静岡大学 グローバル共創科学部 准教授)

○水産部会 15:30～16:10

「アサリ湧く豊かな伊勢湾・三河湾に」

蒲原 聡 氏(前愛知県水産試験場長)

*名刺交換会 16:10～16:40 予定

セミナー終了後、会場内にて名刺交換会をいたします。

【申し込み方法】

参加申し込みは、事務局にメールでお送りください。

メールアドレスは bio-npo2*y4.dion.ne.jp *を@にしてください

件名は『東海生研第2回セミナー参加』としてください。

Zoom Webinar の URL は 8 月 18 日を目途にいただきましたメールアドレスに URL を
連絡します。当日はその URL からライブ配信をご覧ください。

【締切・定員】参加申し込みの方は 8 月 18 日（木）までにお申し込みください。

会場参加の定員は 100 名、Zoom Webinar の定員は 100 名です。

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

後援：名古屋大学大学院生命農学研究科 農研機構 中日本農業研究センター JATAFF

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示 7 月 24 日～8 月 30 日まで 「農山漁村のはたらきと未来」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyu/tokubetsu/index.html>

.....

3. 2023 年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和 5 年度放射性物質測定調査委託事業」

https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html

分野等：福島県及びその周辺における農畜産物及び土壌の放射能汚染レベルの動向把握

公募期間：2023 年 6 月 14 日～8 月 15 日

☆農林水産省（技術会議事務局）：

「令和 5 年度放射能調査研究委託事業のうち「農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明」

https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html

分野等：農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明

公募期間：2023 年 6 月 14 日～8 月 15 日

☆総務省（業務実施機関：(株) 角川アスキー総合研究所）：

「令和 5 年度スタートアップ創出型萌芽的研究開発支援事業」

☆文部科学省：「海洋資源利用促進技術開発プログラム－市民参加による海洋総合知創出
手法構築プロジェクトー（エリア研究実施チーム用）」

https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1401208_00008.htm

分野等：海洋に携わる研究者と市民を含む海洋に関わる多様な人々が協働で市民参加型
研究を実施するとともに、それらの市民参加型研究における総合知創出までの
過程をまとめ、エリアや研究対象に依存しない共通性を備えた知見として昇華
させることにより、海洋分野における総合知を創出するための手法の構築を行
う。

公募期間：2023 年 7 月 7 日～8 月 17 日

☆文部科学省：「令和 6（2024）年度科学研究費助成事業（学術変革領域研究（A）（公募

研究)、新学術領域研究(終了研究領域)」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1394559_00012.htm

分野等：

1. 学術変革領域研究(A)

多様な研究者の共創と融合により提案された研究領域において、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化や若手研究者の育成につながる研究領域の創成を目指し、共同研究や設備の共用化等の取組を通じて提案研究領域を発展させる研究。

2. 新学術領域研究

多様な研究者グループにより提案された、我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域について、共同研究や研究人材の育成、設備の共用化等の取組を通じて発展させる。

公募期間：2023年7月14日～9月19日

☆文部科学省：「令和5年度宇宙開発利用推進研究開発委託費」

https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1401208_00009.htm

分野等：

1. スペース・トランスフォーメーション実現に向けた高分解能光学衛星のデータ解析技術の研究と利用実証
2. デジタル信号処理に対する高効率排熱システムの研究開発
3. ダイヤモンド半導体デバイスの宇宙通信向けマイクロ波電力増幅デバイスの開発
4. 次世代の電源システム基盤技術獲得に向けた検討
5. カーボンニュートラルの実現に向けた森林バイオマス推定手法の確立と戦略的実装

公募期間：2023年7月25日～8月21日

☆上記以外の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。

東海生研ホームページのNEWS(お知らせ)のURL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

4. その他の情報

(1) 新技術情報

☆果樹関係

○イチジク株枯病に極めて強い抵抗性台木新品種「励広台1号」

「最新農業技術・品種2022」のひとつとして、イチジク台木新品種「励広台1号」が選定されました。現行のイチジク品種の全てがイチジク株枯病に罹病性ですが、農研機構と広島県により育成されたこの台木は極めて強い抵抗性を有します。休眠枝や緑枝挿し木によって容易に繁殖でき、主要品種「榊井ドーフィン」や「蓬莱柿」との接ぎ木親和性も高いのも特徴です。土壌病害に対して土壌消毒等の対応が困難な果樹

栽培において、根本的な回避策を開発した本成果は、イチジクの安定生産に貢献できるものです。

・農林水産省 HP:

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/new_tech_cultivar/2022/2022seika-12.html

(2)その他情報

☆第 25 回「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」(魚・水産品の見本市)

このイベントに当研究会が支援している愛知県水産試験場を中核とする研究グループの研究成果が展覧されます。内容は、メスウナギの育成方法で、このメスウナギは大きく育ち、身も皮も柔らかくおいしいのが特徴です。この技術をウナギの養殖に活かすため、実用化にむけて実証試験を積み重ねてきました。2023 年度中に試験販売を開始する予定です。

出展内容：https://seafoodshow-japan.com/tokyo/exhibits_list/56

【場所】東京ビッグサイト 東 5・6 ホール

【入場区分】商談

【開催期間】2023 年 8 月 23 日 (水) ~2023 年 8 月 25 日 (金)

【開催時間】10:00-17:00 (最終日は 1 時間前に終了)

【料金】無料 (要登録)

※ジャパン・インターナショナル・シーフードショー詳細はこちらの URL でご確認ください。<https://seafoodshow-japan.com/tokyo/>

.....

編集後記

7 月に公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会主催の会議が東京でありました。コロナの影響もあり、東京へ出かけるのは久しぶりで、しかも、日帰り出張でしたので大変疲れました。会議では各種事業の説明もありましたので、今後、公募情報等がわかりましたら紹介させていただきます。

さて、7 月 30 日の土用の丑の日にはウナギを食べられた方も多いでしょう。8 月 23 日 (水) ~8 月 25 日 (金) には東京ビッグサイトでジャパン・インターナショナル・シーフードショーが開催されます。その大きなイベントで、当研究会が研究管理運営機関として参画している「大型雌ウナギによる新規市場開拓コンソーシアム」の研究成果を展示します。メスウナギとオスウナギの試食を予定しています。ウナギで厳しい暑さを乗り越えられるよう、お近くにお住まいの方は是非、足をお運びください。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内
<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2023年9月11日発行

東海生研 ～メールマガジン 第225号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第3回セミナーの開催について

【開催日時】2023年10月19日（木）12:30-17:00

【開催場所】ウインクあいち 1201号室（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【開催方法】会場参加及びオンライン（Zoom Webinar）参加のハイブリッド開催

【テーマ】「東海地域における有機農業の推進」

講演タイトルと講演時間割

挨拶 12:30-12:40 NPO 東海生研理事長

講演1：12:40-13:30 「有機農業を推進する行政的な施策について」

講師：東海農政局 浅野 昌江 様

講演2：13:30-14:20 「東海地域における有機農業の現状と課題」

講師：オアシス21 オーガニックファーマーズ朝市村 村長 吉野 隆子 様

休憩：14:20-14:30

講演3：東海地域の市町が取り組むオーガニックビレッジ

講演3-1：14:30-15:10 「愛知県東郷町におけるオーガニックビレッジ構想」

講師：東郷町 町長 井俣 憲治 様

講演3-2：15:10-15:50 「三重県尾鷲市におけるオーガニックビレッジへの取り組み」

講師：尾鷲市 水産農林課 農林振興係主査 田部井 智也 様

講演3-3：15:50-16:30

「岐阜県白川町のオーガニックビレッジへの取り組みとオーガニック給食」

講師：NPO 法人ゆうきハートネット 理事 長谷川 泰幸 様

名刺交換会：16:30-16:50

【参加申込】参加費は無料。会場参加定員70名 オンライン参加定員300名

参加申込は、所属機関名、氏名、連絡先（メールアドレス）を

東海生研事務局 道村宛てにメールでお送り下さい。

メールの宛先：bio-npo2*y4.dion.ne.jp @に変えてください。

です。お申込み締切日は10月12日です。

複数人参加される場合は、人数をご連絡下さい。Zoom Webinar の URL は、

メールで事前に参加者（複数人参加の場合は代表の方）にお送り致します。

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の出展募集

【目的】東海地域における大学、企業、公設試験場、独立行政法人等の研究開発シーズや

成果を紹介する場を提供し、参加者の産学官マッチングによるビジネス創出を支援します。

【開催場所】 ウィンクあいち <https://www.winc-aichi.jp/>

名古屋市中村区名駅4丁目4-38 名古屋駅(名鉄、近鉄、JR)から3分

【開催日時・プログラム】

会場展示 2023年12月7日(木) 8階 802-804

13:00-13:20 開会式

13:20-17:00 ・ブース展示、ポスター展示

出展方法、出展申込書はこちらをご覧ください。出展料は無料です。

<https://www.biotech-tokai.jp/archives/6310>

東海生研のHPから申込書をダウンロードし、メールでお申込みください。

メールの宛先：npo-tokai*ab.auone-net.jp を@に変えてください。

技術相談(事前予約制)

ハイブリッド開催 2023年12月8日(金) 12階 1202

10:00-12:00 東海4県農業関係試験研究機関

愛知県農業総合試験場 三重県農業研究所 静岡県農林技術研究所

岐阜県農業技術センターの公開シンポジウム

13:00-14:30 東海生研主催の成果発表会

Web展示 2023年12月7日(木) - 2024年2月8日(水)

東海生研HPにて出展機関のデータ(映像、テキスト等)を公開します。

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NPO法人東海地域生物系先端技術研究会

共催：東海4県農業関係試験研究機関

後援：名古屋大学大学院生命農学研究科 農業・食品産業技術総合研究機構 中日本農業

研究センター 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示 9月1日(金) ~ 9月25日(金)まで 「防災月間」

9月27日(水) ~ 10月12日(木)まで 「食品ロス」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyata/tokubetsu/index.html>

☆三重大学大学院生物資源学研究科：オープンラボ「地域課題に対応する生物資源学研究的展開」を9/29開催します！

本研究科の教員・学生が日頃の研究活動について、参加していただく農林水産・食品・バイオ・環境関連等の企業・公的機関や地域の方をはじめ、学内外の方々に対して広く紹介する機会として「社会・地域貢献活動のアピール」を目的に開催しております。

<https://www.bio.mie-u.ac.jp/cate/news/open-lab2023.html>

.....

3. 2023年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

☆公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会：

「農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業(フェーズ3基金事業)」の公募が開始されました。

公募期間：8月25日～10月6日

<https://sbir3.jataff.or.jp/>

☆農林水産省（農林水産政策研究所）：「令和5年度連携研究スキームによる研究委託事業（委託研究課題）」

https://www.maff.go.jp/primaff/kadai_hyoka/renkei/2023/bosyu.html

分野等：

1. 農産物・食品の輸出制限的措置による世界の食料需給・貿易構造及びフードセキュリティへの影響に関する研究
2. 国際的な食料供給リスクが我が国のフードシステムに与える影響に関する研究
3. 外部環境の変動が農水産業の生産性へ及ぼす影響の検証と改善方法に関する研究
4. 我が国の持続的で多様な農業に関する研究

公募期間：令和5年8月9日～9月19日

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和5年度戦略的国際共同研究推進委託事業のうち二国間国際共同研究事業（ドイツとの共同研究分野）」

https://www.affrc.maff.go.jp/kokusaikenkyu/bilateral_research_cooperation_r5_germany.html

分野等：

1. 植物の健全性及び保護
2. 動物疾病の予防及び管理

公募期間：2023年8月23日～10月6日

☆農林水産省（基金設置法人：公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会）：「令和4年度補正予算 農林水産省 中小企業イノベーション創出推進事業」

<https://sbir3.jataff.or.jp/>

分野等：

1. 新たな育種技術を活用した画期的な農畜林水産物の開発・実証
2. 品種開発力を強化するスマート育種事業の実証
3. 農作業の自動化・効率化のための革新的スマート農業技術・サービスの開発・実証
4. 温室効果ガスの削減等に資する農業技術実証
5. 新たな飼料及び増産機械の活用等による革新的国産飼料生産・流通・利用技術の実証
6. スマート技術を利用した画期的畜産技術の実証

7. 林業の自動化・遠隔操作化等に向けたスマート技術の実証
8. 林産物高度利用の社会実装に向けた技術実証
9. 持続可能な養殖業の発展に向けた魚粉代替原料の開発・実証
10. 資源評価・管理から生産・加工・流通に至る革新的スマート水産技術の開発・実証
11. 日本産農林水産物・食品の輸出を加速する生産・流通システムも開発・実証
12. 穀物の新規需要を創出する製造技術の実証
13. 食品産業において活用するスマート技術の開発・実証
14. バイオ技術（フードテック）の実証を通じた新しい食品・飼料の開発・実証

公募期間：2023年8月25日～10月6日

☆文部科学省：「令和6（2024）年度科学研究費助成事業（学術変革領域研究（A）（公募研究）、新学術領域研究（終了研究領域））」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1394559_00012.htm

分野等：

1. 学術変革領域研究（A）

多様な研究者の共創と融合により提案された研究領域において、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化や若手研究者の育成につながる研究領域の創成を目指し、共同研究や設備の共用化等の取組を通じて提案研究領域を発展させる研究。

2. 新学術領域研究

多様な研究者グループにより提案された、我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域について、共同研究や研究人材の育成、設備の共用化等の取組を通じて発展させる。

公募期間：2023年7月14日～9月19日

☆上記以外の省庁、日本学術振興会、JST、NEDO、及び民間の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。

東海生研ホームページのNEWS（お知らせ）のURL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

4. その他の情報

(1)新技術情報

☆水田作関係

○「水稲-小麦-大豆 2年3作体系におけるカリ施肥基準を設定しました」（岐阜県農業技術センター）

土地利用型作物（水稲-小麦-大豆、2年3作体系）では体系において、3品目が良好に生育するための確保すべき土壌の交換性カリ含量と、収支に基づくカリ補給による施肥基準を設定しました。土壌診断結果からカリの過不足のない適正な施肥を行うことができます。交換性カリが15mg/100g以上であった場合は、超過分を持ち出し量分の施肥

から減らすことができ、減肥指針として活用できます。詳細については、次のアドレスから「研究成果」の項をご覧ください。

<https://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

.....

編集後記

8月25日に当研究会主催の第2回セミナーで「ウシのゲップの中のメタンを減らし地球温暖化を防ぐ」という講演がありました。講演の中で、カギケノリという海藻を飼料に混ぜて反芻動物に与えると排出されるゲップのメタンガスが減ることが紹介されました。メタンガスは温室効果の高いガスで、これを減らすことは大変意義のあることです。今後、畜産と水産、そして両者をつなぐ分野が連携し、カギケノリ給餌により地球温暖化が抑制されればいいなと思いました。10月19日には第3回セミナーを予定しています。有機農業がテーマとなっています。どうぞ、ふるってご参加ください。

9月に入り、日中はまだ暑いですが朝夕は過ごしやすくなってきました。気温変化が大きいので、体調管理にはお気を付けください。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録(無料)のご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2023年10月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第226号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第3回セミナーの開催について

【開催日時】2023年10月19日（木）12:30-17:00

【開催場所】ウインクあいち 1201号室（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【開催方法】会場参加及びオンライン（Zoom Webinar）参加のハイブリッド開催

【テーマ】「東海地域における有機農業の推進」

講演タイトルと講演時間割

挨拶 12:30-12:40 NPO 東海生研理事長

講演1：12:40-13:30 「有機農業を推進する行政的な施策について」

講師：東海農政局 浅野 昌江 様

講演2：13:30-14:20 「東海地域における有機農業の現状と課題」

講師：オアシス21 オーガニックファーマーズ朝市村 村長 吉野 隆子 様

休憩：14:20-14:30

講演3：東海地域の市町が取り組むオーガニックビレッジ

講演3-1：14:30-15:10 「愛知県東郷町の東郷オーガニックビジョン」

講師：東郷町 町長 井俣 憲治 様

講演3-2：15:10-15:50 「三重県尾鷲市におけるオーガニックビレッジへの取り組み」

講師：尾鷲市 水産農林課 農林振興係主査 田部井 智也 様

講演3-3：15:50-16:30

「岐阜県白川町のオーガニックビレッジへの取り組みとオーガニック給食」

講師：NPO 法人ゆうきハートネット 理事 長谷川 泰幸 様

名刺交換会：16:30-16:50

【参加申込】参加費は無料。会場参加定員70名 オンライン参加定員300名

参加申込は、所属機関名、氏名、連絡先（メールアドレス）を

東海生研事務局 道村宛てにメールでお送り下さい。

メールアドレスは、bio-npo2*y4.dion.ne.jp（*を@に代えて下さい）

です。お申込み締切日は10月12日です。

複数人参加される場合は、人数をご連絡下さい。Zoom Webinar の URL は、

メールで事前に参加者（複数人参加の場合は代表の方）にお送り致します。

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の出展募集

【目的】東海地域における大学、企業、公設試験場、独立行政法人等の研究開発シーズや

成果を紹介する場を提供し、参加者の産学官マッチングによるビジネス創出を支援します。

【開催場所】 ウィンクあいち <https://www.winc-aichi.jp/>

名古屋市中村区名駅4丁目4-38 名古屋駅(名鉄、近鉄、JR)から3分

【開催日時・プログラム】

会場展示 2023年12月7日(木) 8階 802-804

13:00—13:20 開会式

13:20—17:00 ・ブース展示、ポスター展示

出展方法、出展申込書は東海生研HPの「アグリビジネス創出フェア in 東海」をご覧ください。申込書をダウンロードし、メールでお申込みください。出展料は無料です。

メールの宛先：npo-tokai*ab.auone-net.jp *を@に変えてください。

技術相談(事前予約制)

ハイブリッド開催 2023年12月8日(金) 12階 1202

10:00—12:00 東海4県農業関係試験研究機関

愛知県農業総合試験場 三重県農業研究所 静岡県農林技術研究所
岐阜県農業技術センターの公開シンポジウム

13:00—14:30 東海生研主催の成果発表会

Web展示 2023年12月7日(木) —2024年2月8日(水)

東海生研HPにて出展機関のデータ(映像、テキスト等)を公開します。

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NPO法人東海地域生物系先端技術研究会

共催：東海4県農業関係試験研究機関

後援：名古屋大学大学院生命農学研究科 農業・食品産業技術総合研究機構 中日本農業研究センター 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示

9月27日～10月12日まで 「食品ロス」

10月16日～10月30日まで 「植物防疫所の仕事 農業と緑を守るために」

11月1日～11月16日まで 「受け継がれる食文化～うち郷土料理～を食卓に」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyu/tokubetsu/index.html>

☆パネルディスカッション「Z世代からつなぐ、多様な食と農の未来」を開催します

東海農政局は、東海学院大学とタイアップし、「Z世代からつなぐ、多様な食と農の未来」をテーマにパネルディスカッションを開催します。

このイベントは、「Z世代から」をキーワードとし、東海学院大学の学生や東海農政局若手職員(Z世代)が農業関係者等と意見交換を行い、多様な食と農の未来のために何ができるかを議論しようという企画です。

日時：令和5年10月22日(日曜日)13時00分から15時30分

場所：東海学院大学東キャンパス図書館1階大ホール(岐阜県各務原市那加桐野町5-68)

パネルディスカッションの様子は、Webでの視聴も可能です。

詳細は下記をご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tokai/press/kikaku/231003.html>

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等(オンライン開催があるもの)

☆「食関連分野オープンイノベーション・チャレンジピッチ」を開催します!

農林水産省、経済産業省関東経済産業局及び独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部(以下「中小機構」という。)は、食関連分野におけるオープンイノベーションを促進するため、昨年度に引き続き、10月27日(金曜日)に「食関連分野オープンイノベーション・チャレンジピッチ」を開催します。大手企業の持つニーズと、中小企業やスタートアップ等の持つシーズをマッチングさせて、オープンイノベーションによる農林水産業・食品産業の振興を目指します。

開催概要

日時：令和5年10月27日(金曜日)14時00分~16時30分

開催方法：オンライン(Microsoft Teams)

主催：農林水産省、経済産業省関東経済産業局

開催協力：独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部

対象：どなたでもご参加いただけます。(企業、自治体、支援機関、地域金融機関、研究機関等)

申込方法：以下URLよりお申し込みください。

https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kanto01/food_oip_entry_r5

プログラム：

(ア)開会挨拶(農林水産省)

(イ)趣旨説明(関東経済産業局)

(ウ)大手企業のニーズ発信

(エ)国の施策紹介(農林水産省・関東経済産業局)

☆ムーンショット型研究開発制度

生研支援センターでは、科学技術振興機構(JST)が主催する「サイエンスアゴラ2023」において、ムーンショット目標5※の下に推進中の研究課題を出展します。

本出展は、「食と農」の抱える課題を理解し事業化構想を語り合うことを目的としています。新たな価値創造・産業創出を目指す起業・投資のチャンスです!起業家精神の高い皆はもとより、食料と環境に関心のある多数の御参加をお待ちしています。

※「ムーンショット型研究開発制度」は、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発を推進する国の大型研究プログラムです。

その目標 5 では「90 億人がおいしく食べ続けられる社会」を合言葉に、生産性と持続性の両立、人と地球にやさしい食と栄養の供給を目指した挑戦的な研究開発を推進しています。研究だけで終わることのないよう、研究の成果が社会に定着した姿を明確にし、その実現に向けて起業や事業化開発を加速し、研究と事業の融合、ムーンショット・ビヨンドを進めようとしています。

日時：2023 年 10 月 27 日（金曜日）19:00～20:30

開催方法：Zoom ウェビナーによるオンライン

申込方法：事前登録はこちらから

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2023/online/index.html>

27A19 「食と農」のチャレンジングな研究開発、その先へ～Moonshot Beyond～
をクリックしてください。

出展者：生物系特定産業技術研究支援センター ムーンショット目標 5

参加費：無料

定員：200 名程度

ムーンショット目標 5 についての詳細は以下より（生研支援センターウェブサイト）

https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/moon_shot/index.html

.....

4. 2023 年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

☆JST：「2023 年度 大学発新産業創出基金事業 スタートアップ・エコシステム共創プログラム」

<https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/su-ecosys/koubo2023.html>

分野等：大学等発スタートアップ（以下、「大学等発 SU」という）の創出にポテンシャルのあるシーズを全国から引き出し、国際市場への展開を含め、大学等発 SU の創出に向けた取組について質量ともに充実させるとともに、大学等発 SU の継続的な創出を支える人材・知・資金が循環するエコシステムを、参画機関を拡充しながら形成する活動を支援する。

公募期間：2023 年 8 月 29 日～10 月 26 日

☆独立行政法人環境再生保全機構：「令和 6 年度環境研究総合推進費」

https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/r06_koubo_2.html

分野等：統合領域、気候変動領域、資源循環領域、自然共生領域、安全確保領域

公募期間：2023 年 9 月 13 日～10 月 17 日

☆NEDO：「2023 年度第 2 回新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（新エネ中小・スタートアップ支援制度）」

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100422.html

分野等：再生可能エネルギーや低炭素・脱炭素化技術の開発に取り組む中小企業等（スタートアップ企業を含む）によるイノベーションの創出に資する提案を公募し、研究開発や事業化計画の進捗状況等に応じて、5つのフェーズで研究開発に対して助成する。

公募期間：2023年9月6日～11月9日

☆上記以外の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧ください。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆水産関係

○熊野灘沿岸の定置網における漁獲物組成の変化

漁獲量の変化は、地球規模の温暖化の影響等による海洋環境の変化が影響している可能性が考えられています。そこで、三重県沿岸での長期的な漁獲物組成の変化を明らかにすることを目的として、長期間継続して漁獲量のデータが得られている熊野灘沿岸の定置網漁場における過去 50 年間の漁獲物組成の変化を調べました。その結果、10 年単位の比較において、どの年代もブリが最優先種で、第 2 位は主要浮魚類の資源変動に伴って変化していました。かつて上位に位置していたウマヅラハギ・ウスバハギは著しく減少し、ヒラマサやタチウオも減少していました。

・三重県水産研究所 HP: 水産研究所だより

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001086140.pdf>

☆獣害対策関係

○ワイヤーメッシュ柵下部に簡易かつ安価に設置可能な電気線支持具

ワイヤーメッシュ柵は、下部からの侵入対策が不十分だとイノシシが柵下部を押し上げ、そこから侵入される問題があります。その対策の一つに、柵の外側に電気柵を 1 段設置する技術がありますが、本開発資材を使用することで、一般的な電気柵資材と比べて、電気柵機能の追加にかかる設置所要時間を約 2 割、資材費を約 3 割削減できます。

・三重県農業研究所 HP :

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001037007.pdf>

.....

編集後記

今年の夏の気象の影響により農作物や水産物が被害を受けたということがニュース等で報道されています。文部科学省は、令和 5 年 6 月から 7 月上旬の大雨および令和 5 年 7 月下旬から 8 月上旬にかけての記録的な高温を対象として研究を実施した結果、地球温暖化の影響が大きく寄与していたことの検出に成功したという結果を発表しています。今後、地球温暖化が進行すると、このような異常気象が頻発する可能性が高くなると予想されま

す。食料の安定生産に向けての技術開発に期待したいところです。

さて、東海生研主催の第3回セミナーは10月19日に「東海地域における有機農業の推進」をテーマとして開催します。会場参加とオンライン参加のいずれも可能ですので、ふるってご参加ください。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録(無料)のご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2023年11月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第227号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の出展募集

【目的】東海地域における大学、企業、公設試験場、独立行政法人等の研究開発シーズや成果を紹介する場を提供し、参加者の産学官マッチングによるビジネス創出を支援します。

【開催場所】ウインクあいち <https://www.winc-aichi.jp/>

名古屋市中村区名駅4丁目4-38 名古屋駅(名鉄、近鉄、JR)から3分

【開催日時・プログラム】

会場展示 2023年12月7日(木) 8階 802-804

13:00-13:20 開会式

13:20-17:00 ・ブース展示、ポスター展示

出展方法、出展申込書は東海生研HPの「アグリビジネス創出フェア in 東海」をご覧ください。申込書をダウンロードし、メールでお申込みください。出展料は無料です。

メールの宛先：npo-tokai*ab.auone-net.jp *を@に変えてください。

技術相談(事前予約制)

ハイブリッド開催 2023年12月8日(金) 12階 1202

10:00-12:00 東海4県農業関係試験研究機関

愛知県農業総合試験場 三重県農業研究所 静岡県農林技術研究所

岐阜県農業技術センターの公開シンポジウム

13:00-14:30 東海生研主催の成果発表会

Web展示 2023年12月7日(木) - 2024年2月8日(水)

東海生研HPにて出展機関のデータ(映像、テキスト等)を公開します。

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

共催：東海4県農業関係試験研究機関

後援：名古屋大学大学院生命農学研究科 農業・食品産業技術総合研究機構 中日本農業研究センター 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示

11月1日～11月16日まで 「受け継がれる食文化～うち郷土料理～を食卓に」

11月20日～12月6日まで 「花を飾ってみませんか？」

12月8日～12月22日まで 「動物検疫所の仕事」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyataokubetsu/index.html>

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

☆アグリビジネス創出フェア 2023

農林水産省の主催により、11月20日～22日に東京ビッグサイト 南2ホールで「アグリビジネス創出フェア 2023」が開催されます。なお、オンラインサイトの展示は10月3日から開始されており、3月15日まで行われる予定です。

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/231006.html>

<https://agribiz.maff.go.jp>

☆「知」の集積と活用の中

1) 農林水産省等の主催により「知」の集積と活用の中の関係イベントとして、10月27日に「食関連分野 オープンイノベーションチャレンジピッチ」がオンラインで開催されます。

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/230927.html>

2) 農林水産省の主催により、11月7日に大崎ブライトコアホールで「知」の集積と活用の中「令和5年度 ポスターセッション」が開催されます。11月29日にはオンラインセッションが行われます。特設サイトでのポスター展示は10月6日から開始されており、11月30日まで行われる予定です。

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/231006_17.html

☆生研支援センターの研究委託事業に関する令和6年度予算概算要求に基づく応募前説明及び個別相談について

生研支援センターでは、幅広い分野から優れた研究課題を提案していただくことを目的に、令和6年度概算要求に基づいた公募事業の概要や課題提案書の作成等における留意点、採択後の事務手続きを動画で説明するとともに、個別相談を実施します。

ぜひご覧ください！

▼詳細はこちらから（生研支援センターウェブサイト）

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/event/159753.html>

【動画掲載期間】

令和5年10月23日（月）～

上記生研支援センターウェブサイト上に説明動画・資料を掲載しております。

【説明内容一覧】

- 1 『「知」の集積と活用の中』及び令和6年度予算概算要求について
- 2 オープンイノベーション研究・実用化推進事業の概要及び応募に当たっての留意点

- 3 スタートアップ総合支援プログラム（SBIR 支援）の概要及び応募に当たっての留意点
- 4 次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化の概要及び応募に当たっての留意点
- 5 採択後の事務手続き及び研究活動における不正行為の防止

【個別相談】

申込受付期間：令和5年10月23日（月）～11月22日（水）※定員に達し次第締め切り

実施期間：令和5年11月14日（火）・24（金）・27日（月）・28日（火）・29日（水）

申込方法：上記生研支援センターウェブサイト上の申込フォームからお申込みください。

【問い合わせ先】

生研支援センター企画課 山本・宇賀神

E-mail: brain-guidance@ml.affrc.go.jp

.....

4. 2023年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

☆JST：「令和5年度 大学発新産業創出基金事業 ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム」

<https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/deeptech/koubo2023.html>

分野等：ディープテックの技術シーズを核に国際市場への展開を目指す大学等発スタートアップの創出に向けて、概念実証以降のステップに入ることが適切と判断され、審査を経て採択された課題の事業開発と研究開発を支援する。

公募期間：2023年8月29日～11月30日

☆NEDO：「ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発」

https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100217.html

分野等：ディープテック・スタートアップが海外市場への展開を目的として海外企業と行う共同研究開発に対し、NEDOと相手国側のイノベーション支援機関（公的支援機関）が並行して、それぞれ自国企業の研究開発費用の一部の助成等を行う。

公募期間：2023年9月21日～2024年1月31日

☆NEDO：「2023年度ディープテック・スタートアップ支援基金/ディープテック・スタートアップ支援事業（第3回公募）」

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100429.html

分野等：技術の確立や事業化・社会実装までに長期の研究開発と大規模な資金を要し、リスクは高いものの国や世界全体で対処すべき経済社会課題の解決にも資すると考えられる革新的な技術の研究開発に取り組んでいる「ディープテック・スタートアップ」を対象とした助成事業の公募を行う。VC等との協調やステージゲート審査の活用を制度上盛り込み、長期的視野でもって、実用化研究開発や量産化実証、海外技術実証などへの支援を行う。

公募期間：2023年9月27日～12月7日

☆NEDO：「グリーンイノベーション基金事業/廃棄物・資源循環分野におけるカーボニュートラル実現」

https://www.nedo.go.jp/koubo/EV2_100264.html

分野等：

1. CO2 分離回収を前提とした廃棄物焼却処理施設の開発
2. 高効率熱分解処理施設の大規模実証
3. 高効率なバイオメタン等転換技術の開発処理

公募期間：2023年10月10日～12月4日

☆国土交通省：「令和6年度河川砂防技術研究開発」

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/kenkyu.html>

分野等：1. 河川技術部門、2. 砂防技術部門、3. 河川生態部門、4. 海岸技術部門

公募期間：2023年10月2日～11月17日

☆上記以外の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1)新技術情報

☆茶関係

○チャ新品種「ゆめすみか」と「しずゆたか」について

静岡県農林技術研究所茶業研究センターが育成したチャ新品種「ゆめすみか」（旧系統名：90-2-213）と「しずゆたか」（旧系統名：95-7-35）が令和5年5月19日及び同年3月30日に品種登録出願公表されました。「ゆめすみか」は香りに特徴があり、香り緑茶製法等により萎凋させることで爽やかなスマレのような香りが際立ちます。「しずゆたか」は収量が「やぶきた」の約2倍多く、チャの重要病害である炭疽病の発生がほとんどみられません。

・静岡県 HP：

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1046794/1055015.html>

☆昆虫関係

○昆虫の力を借りて食品廃棄物の臭気を抑える技術を開発

-育てた昆虫はタンパク質資源として利用可能-

農研機構、東京大学、筑波大学の研究グループは、アメリカミズアブ幼虫の腸内細菌叢を含んだ飼育残渣を食品廃棄物に加えることで、食品廃棄物が発生する臭気を抑える技術を開発しました。本技術は、ミズアブを使った食品廃棄物の処理時に生じる悪臭の問題を解決し、ミズアブ処理による食品残渣のリサイクルの拡大と昆虫タンパク質の生産拡大に貢献します。

・農研機構 HP：

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nias/158033.html

.....

編集後記

10月19日に有機農業の推進をテーマとしたセミナーを開催しました。国や地方公共団体の施策や有機農業を实践している方のお話を聞くことができました。栽培することがいちばん苦勞するところだと思っていたのですが、岐阜県のアンケート結果で、生産技術も経営収支も安定しているという回答が多かったという紹介があり、ちょっと驚きました。ここには、技術も経営も安定させるための並々ならぬ努力が潜んでいるのだらうと思いました。今後、行政の支援、仲間との連携、そして地域の協力により、有機農業が発展していくことを望みます。

さて、12月7～8日には「アグリビジネス創出フェア in 東海」を開催いたします。内容については、本メールマガジンおよび当研究会のホームページをご覧ください、ふるってご参加ください。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録(無料)のご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2023年12月11日発行

東海生研 ～メールマガジン 第228号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」のweb展示について

2023年度の「アグリビジネス創出フェア in 東海」を12月7日～12月8日に開催しました。出展機関のデータ（映像、テキスト等）を「web展示」として、東海生研ホームページ上で2024年2月8日（木）まで公開しています。

<https://www.biotech-tokai.jp/archives/5439>

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示

12月8日～12月22日まで 「動物検疫所の仕事」

12月26日～1月22日まで 「知って！楽しむ！ジビエ」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyataokubetsu/index.html>

☆NPO法人食品サークル Study Meeting @名古屋

Study Meeting は、食品に関わる業務従事者、食品に興味がある方の相互交流による知識、経験の共有による学びを目指しています。

今回は、カビ、官能検査、異物分析について知識を深める実践的な内容になっています。

興味がある皆様のご参加をお待ちしております。

【開催日時】 2024年1月21日（日）13:15～16:45（開場 13:00）

【開催場所】 名古屋国際センター4階、第3研修室

【申し込み等】 詳細は下記をご覧ください。

[https://www.biotech-tokai.jp/biotech/wp-](https://www.biotech-tokai.jp/biotech/wp-content/uploads/2023/12/NPO%E9%A3%9F%E5%93%81%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%83%A)

[content/uploads/2023/12/NPO%E9%A3%9F%E5%93%81%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%83%AB2024%E5%B9%B4%E6%9C%88%E6%97%A5Study-Meeing-%E6%A1%88%E5%86%85.pdf](https://www.biotech-tokai.jp/biotech/wp-content/uploads/2023/12/NPO%E9%A3%9F%E5%93%81%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%83%AB2024%E5%B9%B4%E6%9C%88%E6%97%A5Study-Meeing-%E6%A1%88%E5%86%85.pdf)

.....

3. 2023年度の競争的研究資金について

☆林野庁：「木材製品の消費拡大対策（JAS 構造材実証支援事業及び CLT 建築実証支援事業）及びスギ材の需要拡大対策（花粉症対策木材利用促進事業及び花粉症対策木材の活用に向けた技術開発事業）」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R05koubo_4/05_hosei_koubo_02.html

分野等：

これまで木材利用が低位であった非住宅分野を中心とする建築物の木造化に向けて、
・ JAS の格付実績の低い構造材（製材、枠組壁工法構造用製材又は CLT（直交集成板））

等の消費拡大に向けた普及・実証の取組

- ・ CLT 建築物の設計・建築等の実証、CLT 等木質建築部材の技術開発・普及及び品質・性能の確かな製品の性能検証の取組

に対し支援する。

また、花粉症対策として行うスギ材の需要拡大に向けて、

- ・ 住宅分野におけるスギ JAS 構造材等の利用促進
- ・ スギ材の利用拡大に向けた技術開発

に対し支援する。

公募期間：2023 年 11 月 28 日～12 月 12 日

☆林野庁：「花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策事業のうち花粉の少ない苗木の生産拡大のうち細胞増殖による苗木大量増産技術の開発事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R05koubo_4/05_hosei_koubo_04.html

分野等：

1. スギの細胞の増殖等に関連する遺伝子の基盤情報の整備・解析
2. 細胞増殖を効率化するための技術開発
3. 細胞増殖により生産された苗木の順化・成長情報の整備・解析

公募期間：2023 年 11 月 28 日～12 月 12 日

☆上記以外の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

4. その他の情報

(1) 新技術情報

☆害虫関係

○「冬期の耕うん+薬剤散布+浅水管理」によるスクミリンゴガイの体系防除

三重県では、スクミリンゴガイによる水稻の食害が増加傾向にあります。被害地域では、防除が効果的に行われていない状況にあったため、三重県の水田営農の状況に即した体系を構築しました。スクミリンゴガイ対策は (1) 冬期の耕うん+(2) 薬剤散布+(3) 浅水管理

の体系防除が基本です。

- ・ 三重県農業研究所 HP:

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001037006.pdf>

☆果樹関係

○リアルタイムに低温積算時間の実況と予測値を表示

-スマホで果樹の促成栽培管理を支援-

農研機構果樹茶業研究部門は、果樹の促成栽培において資材被覆時期や加温開始時期の判断などの栽培管理を支援できる「果樹の低温積算時間表示システム」を公開しました。本システムは、農研機構メッシュ農業気象データから配信される気温データを使用しており、任意の地点の低温積算時間の到達日等を正確に表示します。スマホやPCのWebブラウザ上で簡単に操作でき、登録すれば誰でも無料で利用することができます。

・農研機構HP：

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nifts/156549.html

編集後記

12月7～8日に開催しました「アグリビジネス in 東海」が終了しました。大きなイベントを無事終えることができホッとしています。ご参加いただいた方、ありがとうございました。

さて、2023年もあと1か月を切りました。東海生研では年明けに発行を予定している情報誌「バイオテック東海」の編集を進めています。特集は異業種からの農業参入をテーマとしました。農業を始めて間もない方への取材で、専門知識や技術経験が乏しい中の苦労話だけでなく、農業に取り組む夢や楽しさを聞くことができました。このような内容を含めて情報誌としてまとめますので、どうぞご期待ください。

では、来年もよろしく願い申し上げます。どうか、良い年をお迎え下さい。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX：052-789-4586

E-mail：bio-npo2*y4.dion.ne.jp（*を@に書き換えてください）

URL：https://www.biotech-tokai.jp/

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2024年1月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第229号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の概要について

2023年度の「アグリビジネス創出フェア in 東海」を12月7日～12月8日に開催しました。展示会の出展内容や成果発表会の資料を下記で公開しています。

<https://www.biotech-tokai.jp/archives/category/agribusiness>

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示

令和5年12月26日～令和6年1月22日まで 「知って！楽しむ！ジビエ」

令和6年1月24日～令和6年2月9日まで 「我が国の食料自給率・食料自給力
指標について」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyu/tokubetsu/index.html>

.....

3. 2023年度の競争的研究資金について

☆JST：「2023（令和5）年度 研究成果最適展開支援プログラムA-STEP 実装支援
（返済型）」

<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/hensai.html>

分野等：大学等の研究成果の社会実装を目指す、ベンチャー企業等による実用化開発を、開発費の貸付により支援する。出資（エクイティ）と異なり、株式を発行せずに調達可能な資金（デット）として、ベンチャー企業等に利用いただくことを想定している。

公募期間：2023年4月1日～2024年3月31日（随時、応募相談・選考を行い採否を判定する）

☆JST：「経済安全保障重要技術育成プログラム2023年度第3回研究開発課題公募」

<https://www.jst.go.jp/k-program/koubo/>

分野等：量子技術等の最先端技術を用いた海中（非GPS環境）における高精度航法技術・量子技術等の最先端技術を用いた海中における革新的センシング技術のうち、「海中における革新的センシング技術」等

公募期間：2023年11月22日～2024年2月8日

☆NEDO：「ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発」

https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100217.html

分野等：ディープテック・スタートアップが海外市場への展開を目的として海外企業と行う共同研究開発に対し、NEDO と相手国側のイノベーション支援機関（公的支援機関）が並行して、それぞれ自国企業の研究開発費用の一部の助成等を行う。

公募期間：2023年9月21日～2024年1月31日

☆JST：「e-ASIA 共同研究プログラム 令和6年度採択「代替エネルギー」分野、「農業（食料）」分野 共同研究課題募集」

https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/announce_easia_jrp_13th.html

分野等：

1. 「代替エネルギー」分野の想定される研究テーマ
 - ・再生可能エネルギー
 - ・蓄エネルギー
 - ・エネルギーマネジメントシステム
2. 農業（食料）分野の想定される研究テーマ
 - ・農業に関する革新的なセンシング手法、データ収集手法、分析手法の開発
 - ・AI を利用した画像解析等による病害虫発生警報システムおよび植物病害診断アプリケーションの設計
 - ・AI と GPS、無人航空機(UAV) およびその他の自動化技術による、圃場管理、収穫、輸送および包装等における統合された持続可能な管理に関する研究
 - ・圃場管理状況を含む作物・食品のリアルタイムモニタリングのためのトラック&トレースシステム（検査・認証システム）の開発
 - ・新規就農者支援や経験伝達のための ICT を用いたマニュアルの作成
 - ・農場から食卓までの情報を含む統合型のデータプラットフォームの開発
 - ・新技術への投資を含む、気候変動対応型スマート農業に関する社会科学的な分析

公募期間：2023年12月15日～2024年3月29日

☆NEDO：「バイオものづくり革命推進事業（第2回公募）」

https://www.nedo.go.jp/koubo/EF2_100215.html

分野等：

1. 未利用資源の収集・資源化のための開発・実証
2. 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化
3. 微生物等による目的物質の製造技術の開発・実証
4. 微生物等によって製造した物質の分離・精製・加工技術の開発・実証
5. バイオものづくり製品の社会実装のための評価手法等の開発

公募期間：2023年12月25日～2024年2月26日

☆厚生労働省：「令和6年度厚生労働科学研究費補助金（1次）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36920.html

分野等：1. 行政政策研究分野、2. 疾病・障害対策研究分野、3. 健康安全確保総合研究

分野

公募期間：2023年12月22日～2024年1月26日

☆上記以外の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>
.....

4. その他の情報

(1) 新技術情報

☆水産関係

○伊勢・三河湾におけるニホンウナギおよびマアナゴの来遊量の変動

近年資源減少が指摘されている 来遊量にみられる変化と要因について考察 近年の海洋環境の変化により、ニホンウナギ仔魚とマアナゴ仔魚の輸送経路に影響を及ぼした可能性が推定された。

・愛知県水産試験場 HP：

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/455364.pdf>

☆果樹関係

○マルチ栽培の水管理をサポートする水分ストレス推定 AI アプリ

ウンシュウミカン産地の高品質果実生産技術のためのマルドリ方式において、水分ストレス管理指標の開発が望まれていました。そこで、画像解析・人工知能応用技術等を活用し、AI 深層学習に基づく樹体水分ストレスセンシング技術の開発と専用アプリ（AI アプリ）を開発しました。

・三重県農業研究所 HP：

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001090381.pdf>

(2) その他

☆2023年農業技術10大ニュースの選定について

この1年間に新聞記事となった民間企業、大学、公立試験研究機関及び国立研究開発法人の農林水産研究成果のうち、内容に優れるとともに社会的関心が高いと考えられる成果10課題を農業技術クラブ（農業関係専門紙・誌など30社加盟）の加盟会員による投票を得て選定しました。

・農林水産技術会議 HP：

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/231225.html>
.....

編集後記

あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

さて、昨年12月に農林水産省が公表した水稻の作況指数は全国平均が101でした。東海3県の平均は99で、田植え後の日照不足、夏季の少雨や記録的な高温が影響したとされています。一方、品質については、一等米比率が過去最低だったということが報告されてい

ます。全国的な主力品種「コシヒカリ」は、夏季の高温に品質が影響を受けやすいのですが、地方公設試が育成した高温耐性の強い品種は、高い品質を維持したということが新聞等でも紹介されています。このような品種開発の現状を、昨年12月に当研究会が開催したアグリビジネス創出フェアの中のシンポジウムで発表していただきました。今年も、このような有益な情報を提供していきますので、引き続きよろしく願いいたします。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2024年2月13日発行

東海生研 ～メールマガジン 第230号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆個別相談について

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会の個別相談は日常的に実施しています。個別相談では、競争的研究資金の獲得支援（共同研究機関の紹介、提案内容の検討、提案書のブラッシュアップ）、事業化支援などを行っています。

（連絡先）

事務局長 岩佐 E-mail: npo-tokai*ab.auone-net.jp （*を@に書き換えてください）

電話：052-789-4586

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆「あいち農業イノベーションサミット2024 ～テクノロジーが導く農業現場の変革～」

愛知県では、農業分野の課題の迅速な対応のために、産官学が連携したイノベーション創出を目指す、「あいち農業イノベーションプロジェクト」に取り組んでいます。本イベントでは先進的な取組を行う農家、スタートアップ、自治体によるトークセッション、あいち農業イノベーションプロジェクトの取組紹介を行います。

日時：2024年3月21日（木）14時～16時30分

場所：アンフォーレ 本館 [1階・ホール]

（愛知県安城市御幸本町504番地1〈JR東海道本線安城駅南口から徒歩5分〉）

定員/参加方法：現地参加100名/Zoom※オンラインによるハイブリッド開催

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2023nogyoinobehoukoku.html>

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示

令和6年2月14日～令和6年2月29日まで

「地理的表示（GI）保護制度 ジーアイって何？」

令和6年3月4日～令和6年3月19日まで

「農泊を楽しみませんか」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heya/tokubetsu/index.html>

.....

3. 農林水産・食品分野の公募情報

【研究開発関連】

☆生物系特定産業技術研究支援センター：「戦略的スマート農業技術の開発・改良」

生研支援センター(BRAIN)は、令和5年度補正予算「スマート農業技術の開発・実証・

実装プロジェクト」における「戦略的スマート農業技術の開発・改良」（以下「本事業」という。）を国から交付される運営費交付金により実施することを予定しています。生産現場のスマート化を加速するために必要な農業技術の開発及び改良を推進するため、本事業で研究開発の実施を希望する研究機関等の公募を実施することにいたしました。

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/offering/koubo/2024.html>

公募期間：2024年1月18日～2月15日正午

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和6年度みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進（委託プロジェクト研究）」

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/240119.html>

分野等：

1. 現場ニーズ対応型研究

- 1) 和牛肉の持続的な生産を実現するための飼料利用性の改良
- 2) ホタテガイ等の麻痺性貝毒検査における機器分析導入に向けた標準物質製造技術の開発

2. 革新的環境研究

日本と木材輸出相手国の樹木を外来病害虫から護る複合リスク緩和手法の開発

公募期間：2024年1月19日～2月29日

☆農林水産省（消費・安全局）：「令和6年度戦略的監視・診断体制整備推進委託事業（鳥インフルエンザ診断用試薬の製造・配布）」

https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html

分野等：遺伝子検査に必要な鳥インフルエンザ陽性対照 RNA 試薬及び抗体検査に必要な寒天ゲル内沈降反応用抗原試薬及び指示陽性血清試薬を製造し、全都道府県等に配布する。

公募期間：2024年2月5日～28日

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和6年度放射性物質測定調査委託事業」

https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html

分野等：福島県及びその周辺における農畜産物及び土壌の放射能汚染レベルの動向把握

公募期間：2024年2月5日～4月8日

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和6年度放射能調査研究委託事業のうち「農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明」

https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html

分野等：農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明

公募期間：2024年2月5日～4月8日

☆国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「令和5年度補正予算 戦略的スマート農業技術の開発・改良」

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/offering/koubo/2024.html>

分野等：スマート農業技術の開発が必ずしも十分でない品目や分野（野菜（露地野菜/

施設園芸)、果樹・茶、土地利用型作物、畜産など)において、別表の「解決すべき技術課題」の技術開発や改良を支援する。

公募期間：2024年1月18日～2月15日

☆国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「令和6年度オープンイノベーション研究・実用化推進事業」

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/open-innovation/offering/koubo/2024.html>

分野等：産学官が連携して取り組む農林水産・食品分野での社会実装を目的とした革新的な研究シーズを創出する基礎研究や、基礎研究等の成果を社会実装するための実用化段階の研究開発を支援する。

公募期間：2024年1月26日～2月27日

☆林野庁：「木材需要の創出・輸出力強化対策のうち木質バイオマス利用環境整備事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R06koubo_1/06mhc0107.html

分野等：「地域内エコシステム」技術開発・実証事業 等

公募期間：2024年1月31日～3月1日

☆林野庁：「森林技術国際展開支援事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R06koubo_1/06mhc0111.html

分野等：途上国の森林の防災・減災等の機能強化に資する技術等の開発 等

公募期間：2024年1月31日～3月1日

☆林野庁：「世界遺産の森林生態系保全対策事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R06koubo_1/06mhc0114.html

分野等：

1. 「小笠原諸島」における森林生態系保全のための技術開発
2. 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」における森林生態系保全のための技術開発

公募期間：2024年1月31日～3月1日

☆林野庁：「林業・木材産業循環成長対策のうち優良種苗生産推進対策のうちエリートツリー等の原種増産技術の開発等事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R06koubo_1/06mhc0120.pdf.html

分野等：

1. 増殖技術の最適化と施設型採種園の管理技術の開発
2. 無花粉スギの生産・増殖効率の改善

公募期間：2024年1月31日～3月1日

☆林野庁：「林業デジタル・イノベーション総合対策のうち戦略的技術開発・実証事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R06koubo_1/06mhc0121.html

分野等：

1. 機械・新技術の開発・実証
2. ソフトウェア等の開発・実証

3. 木質系新素材の開発・実証

4. 先進的林業機械の実証

公募期間：2024年1月31日～3月1日

☆水産庁：「令和6年度豊かな漁場環境推進事業のうち海域特性に応じた赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類対策推進事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/240125_su_akashio.html

分野等：海域ごとの赤潮・貧酸素水塊や栄養塩類不足による漁業被害への対策技術の開発・実証・高度化として、赤潮・貧酸素水塊について、近年の発生状況も踏まえた予察、被害軽減等の技術の開発・実証・高度化を行うとともに、栄養塩類等の水質環境について、水産資源との関係やそれに及ぼす影響の解明等を行い、海域ごとの特性に応じた栄養塩類管理方策の検討・策定・提供を行う。

公募期間：2024年1月25日～3月8日

☆水産庁：「令和6年度ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実用化事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/20240125_R6unagi.html

分野等：ウナギ養殖の種苗については、全て天然資源に依存する状況にある中で、シラスウナギの漁獲量の低迷により種苗供給が不安定な状況にあり、国民への安定的なウナギの供給が懸念されている。現在、国立研究開発法人水産研究・教育機構を中心に、ウナギ種苗の大量生産技術の確立に取り組んでいるところであるが、種苗大量生産の事業化を加速させる施策を講じる必要がある。このため、工学等異分野の技術の導入や産学官での連携を行い、これまでの実証事業で得た技術開発の成果を踏まえ、①仔魚の生残率の向上、②再現性の向上、③省力化・省コスト化等の実証試験に取り組み、ウナギ種苗を大量生産する際に必要な知見を得る。

公募期間：2024年1月25日～2月28日

☆水産庁：「令和6年度新技術開発事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/hozyo/240201_se12.html

分野等：技術的・専門的観点から、捕鯨船を活用する等した調査体制及び新技術開発のための検討会を開催する。また、目視で行っている鯨類科学調査を補完するための新たな調査手法（例：音響調査、環境DNA調査等）を取り入れるため、捕鯨船を活用する等した新技術の開発と実証、これに付随する調査および情報収集等の取組を行う。

公募期間：2024年2月1日～16日

☆水産庁：「令和6年度定置網漁業等における数量管理のための技術開発事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/hozyo/240201_se16.html

分野等：定置網漁業等において小型魚等の混獲の回避や、魚種選択性を向上させる技術開発を行い、これらの技術の普及を促進する。

公募期間：2024年2月1日～16日

☆JST：「2023（令和5）年度 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP 実装支援（返済型）」

<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/hensai.html>

分野等：大学等の研究成果の社会実装を目指す、ベンチャー企業等による実用化開発を、開発費の貸付により支援する。出資（エクイティ）と異なり、株式を発行せずに調達可能な資金（デット）として、ベンチャー企業等に利用いただくことを想定している。

公募期間：2023年4月1日～2024年3月31日（随時、応募相談・選考を行い採否を判定する）

☆JST：「e-ASIA 共同研究プログラム 令和6年度採択「代替エネルギー」分野、「農業（食料）」分野 共同研究課題募集」

https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/announce_easia_jrp_13th.html

分野等：

1. 「代替エネルギー」分野の想定される研究テーマ
 - ・再生可能エネルギー
 - ・蓄エネルギー
 - ・エネルギーマネジメントシステム
2. 農業（食料）分野の想定される研究テーマ
 - ・農業に関する革新的なセンシング手法、データ収集手法、分析手法の開発
 - ・AIを利用した画像解析等による病虫害発生警報システムおよび植物病害診断アプリケーションの設計
 - ・AIとGPS、無人航空機(UAV)およびその他の自動化技術による、圃場管理、収穫、輸送および包装等における統合された持続可能な管理に関する研究
 - ・圃場管理状況を含む作物・食品のリアルタイムモニタリングのためのトラック&トレースシステム（検査・認証システム）の開発
 - ・新規就農者支援や経験伝達のためのICTを用いたマニュアルの作成
 - ・農場から食卓までの情報を含む統合型のデータプラットフォームの開発
 - ・新技術への投資を含む、気候変動対応型スマート農業に関する社会科学的な分析

公募期間：2023年12月15日～2024年3月29日

☆JST：「2024年度 先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）における日英共同研究提案の募集」

https://www.jst.go.jp/inter/aspire/program/announce/announce_aspire2024_uk.html

分野等：エンジニアリングバイオロジーの基礎と分野横断的な技術開発に焦点を当て、日本と英国によるトップレベルかつ国際競争力ある共同研究の実施と、優秀な若手研究者等の研究交流を支援する。

公募期間：2024年1月15日～4月16日

☆NEDO：「バイオものづくり革命推進事業（第2回公募）」

https://www.nedo.go.jp/koubo/EF2_100215.html

分野等：

1. 未利用資源の収集・資源化のための開発・実証
2. 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化
3. 微生物等による目的物質の製造技術の開発・実証
4. 微生物等によって製造した物質の分離・精製・加工技術の開発・実証
5. バイオものづくり製品の社会実装のための評価手法等の開発

公募期間：2023年12月25日～2024年2月26日

☆NEDO：「2024年度研究開発型スタートアップの起業・経営人材確保等支援事業/ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業(NEP)/開拓コース」

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100437.html

分野等：

ディープテック分野での技術シーズを活用したアイデアの実現可能性調査を行う「NEDO Front-Runner (FR)」を公募する。FRは、NEDOが委嘱をした事業化支援人材「Accompany Runner」によるハンズオンの指導・助言を受けつつ、自ら起業することも視野に入れながら、技術シーズを活用したアイデアの実現可能性に関する調査として、以下等の活動を行っていただく。

- ・技術シーズの活用方法に関する探索活動
- ・技術シーズの深化のための研究開発
- ・アイデアをもとにしたビジネスモデル作成・市場調査・試作品の製作

公募期間：2023年12月28日～2024年2月26日

☆NEDO：「2024年度NEDO先導研究プログラム/新技術先導研究プログラム」

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00062.html

分野等：

1. エネルギー・環境新技術先導研究プログラム
2. 新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム

公募期間：2024年1月26日～2月29日

☆NEDO：「2024年度エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発」

https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100228.html

分野等：欧州等海外の規制に合致するバイオマスプラスチック類に関する国際共同研究開発等

公募期間：2024年1月26日～3月26日

☆NEDO：「2024年度NEDO先導研究プログラム/未踏チャレンジ」

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00061.html

分野等：NEDO先導研究プログラム/未踏チャレンジは、脱炭素社会の実現に向けて、課題の解決に資する技術シーズを発掘し、先導研究を実施することで、産業技術に発展させていくことを目的とする。未踏チャレンジでは、事業開始後30年

先の技術の実用化・社会実装を実現していくため、大学・公的研究機関等や産業界が有する将来有望な技術シーズを公募する。当該技術シーズを有する事業者に対して業務委託することで先導研究を実施し、有望な技術を育成する。

公募期間：2024年2月1日～4月1日

【研究開発関連以外】

☆国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構：「令和6年度スマート農業技術活用産地支援事業」

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/161441.html

分野等：

1. 支援チームによる産地への指導
2. 産地におけるスマート農業技術活用産地支援手引き書の作成

公募期間：2024年1月22日～3月8日

☆上記以外の情報については、下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧ください。

東海生研ホームページのNEWS（お知らせ）のURL <https://www.biotech-tokai.jp/>
.....

4. その他の情報

(1) 新技術情報

☆果樹関係

○冷蔵で賞味期限を1年以上保持した カキ果実コンポートの開発

洗浄、剥皮・切断等前処理したカキ果実と調味液（加工後 pH4.0 未満）を酸素透過性の低いナイロンポリ袋等の包材で脱気包装し、中温中高压処理（100 MPa、65 °C、30 分間）を行うことにより、生果に近い食感を保持し通年供給可能なカキ果実加工品を製造できます。

- ・岐阜県農業技術センター：（研究成果（R4））の項からご覧ください）

<https://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

☆花き関係

○切り花の日持ちが優れる ダリアエターニティシリーズの新品種

「エターニティピーチ」、「エターニティシャイン」

-種苗生産のための原種苗提供予約を開始-

農研機構野菜花き研究部門は、優れた日持ち性とその美しさにより全国への普及が進んでいる良日持ち性ダリアエターニティシリーズに、美しい複色花色や落弁しにくいなどの新たな特性でバリエーションを拡大した「エターニティピーチ」、「エターニティシャイン」の2品種を育成し、このたび種苗生産のための原種苗予約を開始しました。

特徴である優れた日持ち性を活かし、新品種の全国への普及が期待されます。

- ・農研機構 HP：

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/158348.html

(2)その他

☆葵うなぎの BUZZ MAFF 動画が公開されました

当研究会が研究管理運営機関として参画したプロジェクト研究事業の成果が動画で紹介されています。

・東海生研 HP:<https://www.biotech-tokai.jp/archives/6851>

BUZZ MAFF についてはこちらをご覧ください。

・東海農政局 HP:<https://www.maff.go.jp/tokai/news/buzzmaff.html>

・農林水産省 HP:<https://www.maff.go.jp/j/pr/buzzmaff/>

.....

編集後記

立春を過ぎ、梅の開花の便りが届く季節となりました。気温変化の大きい時期でもありますが、体調管理にはお気を付けください。春に向けて暖かくなり、そして世の中が明るくなることを待ち望んでいるところです。さて、2023年度もあと2か月を切り、年度内のまとめと次年度の計画にお忙しいことと思われます。農林水産・食品分野の競争的研究資金の公募も各種ありますので、応募を検討されている方は内容をご確認ください。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録 (無料) ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>

2024年3月11日発行

東海生研 ～メールマガジン 第231号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆個別相談について

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会の個別相談は日常的に実施しています。個別相談では、競争的研究資金の獲得支援（共同研究機関の紹介、提案内容の検討、提案書のブラッシュアップ）、事業化支援などを行っています。

（連絡先）

事務局長 岩佐 E-mail: npo-tokai*ab.auone-net.jp （*を@に書き換えてください）

電話：052-789-4586

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆「あいち農業イノベーションサミット2024 ～テクノロジーが導く農業現場の変革～」

愛知県では、農業分野の課題の迅速な対応のために、産官学が連携したイノベーション創出を目指す、「あいち農業イノベーションプロジェクト」に取り組んでいます。本イベントでは先進的な取組を行う農家、スタートアップ、自治体によるトークセッション、あいち農業イノベーションプロジェクトの取組紹介を行います。

日時：2024年3月21日（木）14時～16時30分

場所：アンフォーレ 本館 [1階・ホール]

（愛知県安城市御幸本町 504 番地 1 〈JR 東海道本線安城駅南口から徒歩 5 分〉）

定員/参加方法：現地参加 100 名/Zoom※オンラインによるハイブリッド開催

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2023nogyoinobehoukoku.html>

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示

令和 6 年 3 月 4 日～令和 6 年 3 月 19 日まで

「農泊を楽しみませんか」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heya/tokubetsu/index.html>

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

☆新たなライフスタイルに対応した野菜や果物の生産・流通・消費

多様でバランスの取れた健康的な食事における野菜や果物の役割、変化するライフスタイルに求められる野菜や果物の機能について、栄養成分とその効果、機能性を高める栽培方法や食べ方を紹介しながら、そして食の未来について考える。

開催日時：令和6年3月22日（金曜日）13時30分～15時00分

受講方法：オンライン開催

申込期限：令和6年3月17日（日曜日）まで

<https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/event/seminor/240322.html>

4. 農林水産・食品分野の公募情報

【研究開発関連】

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和6年度放射性物質測定調査委託事業」

https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html

分野等：福島県及びその周辺における農畜産物及び土壌の放射能汚染レベルの動向把握

公募期間：2024年2月5日～4月8日

☆農林水産省（技術会議事務局）：「令和6年度放射能調査研究委託事業のうち「農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明」

https://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/index.html

分野等：農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明

公募期間：2024年2月5日～4月8日

☆農林水産省（消費・安全局）：「令和6年度 安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/gijyutu/240206.html>

分野等：

短期課題解決型研究

1. 動植物検疫におけるAIを活用したX線画像解析による輸入検査技術・システムの開発に向けた調査研究
2. 海洋環境の変化を踏まえた貝毒低減等安全性向上に係る技術開発、検証

公募期間：2024年2月6日～3月29日

☆文部科学省：「令和6年度宇宙航空科学技術推進委託費（の内、航空脱炭素技術等創出プログラム）」

https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1401208_00010.htm

分野等：航空機の水素燃料・電動化技術や機体軽量化・効率化による温室効果ガス排出量の抜本的低減に資する技術といった、航空分野における脱炭素化に資する技術の開発・高度化や、航空分野と異分野の技術シーズ・ニーズのマッチングによる、農林水産業や気候変動、環境、交通・物流等の様々な分野における脱炭素化への取組を推進することで、将来的なカーボンニュートラルの実現及び航空分野の新たな可能性開拓に向けた価値創出・提供を目指す。

公募期間：2024年2月16日～4月10日

☆経済産業省：「令和6年度 成長型中小企業等研究開発支援事業」

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2024/240216kobo.html>

分野等：中小企業者等が、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けて、大学・公設試等と連携して行う研究開発等。

公募期間：2024年2月16日～4月16日

☆JST：「2023（令和5）年度 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP 実装支援（返済型）」

<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/hensai.html>

分野等：大学等の研究成果の社会実装を目指す、ベンチャー企業等による実用化開発を、開発費の貸付により支援する。出資（エクイティ）と異なり、株式を発行せずに調達可能な資金（デット）として、ベンチャー企業等に利用いただくことを想定している。

公募期間：2023年4月1日～2024年3月31日（随時、応募相談・選考を行い採否を判定する）

☆JST：「e-ASIA 共同研究プログラム 令和6年度採択「代替エネルギー」分野、「農業（食料）」分野 共同研究課題募集」

https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/announce_easia_jrp_13th.html

分野等：

1. 「代替エネルギー」分野の想定される研究テーマ
 - ・再生可能エネルギー
 - ・蓄エネルギー
 - ・エネルギーマネジメントシステム
2. 農業（食料）分野の想定される研究テーマ
 - ・農業に関する革新的なセンシング手法、データ収集手法、分析手法の開発
 - ・AI を利用した画像解析等による病虫害発生警報システムおよび植物病害診断アプリケーションの設計
 - ・AI と GPS、無人航空機(UAV)およびその他の自動化技術による、圃場管理、収穫、輸送および包装等における統合された持続可能な管理に関する研究
 - ・圃場管理状況を含む作物・食品のリアルタイムモニタリングのためのトラック&トレースシステム（検査・認証システム）の開発
 - ・新規就農者支援や経験伝達のための ICT を用いたマニュアルの作成
 - ・農場から食卓までの情報を含む統合型のデータプラットフォームの開発
 - ・新技術への投資を含む、気候変動対応型スマート農業に関する社会科学的な分析

公募期間：2023年12月15日～2024年3月29日

☆JST：「2024年度 先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）における日英共同研究提案の募集」

https://www.jst.go.jp/inter/aspire/program/announce/announce_aspire2024_uk.html

分野等：エンジニアリングバイオロジーの基礎と分野横断的な技術開発に焦点を当て、日本と英国によるトップレベルかつ国際競争力ある共同研究の実施と、優秀な

若手研究者等の研究交流を支援する。

公募期間：2024年1月15日～4月16日

☆NEDO：「2024年度エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発」

https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100228.html

分野等：欧州等海外の規制に合致するバイオマスプラスチック類に関する国際共同研究開発等

公募期間：2024年1月26日～3月26日

☆NEDO：「2024年度NEDO先導研究プログラム/未踏チャレンジ」

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00061.html

分野等：NEDO先導研究プログラム/未踏チャレンジは、脱炭素社会の実現に向けて、課題の解決に資する技術シーズを発掘し、先導研究を実施することで、産業技術に発展させていくことを目的とする。未踏チャレンジでは、事業開始後30年先の技術の実用化・社会実装を実現していくため、大学・公的研究機関等や産業界が有する将来有望な技術シーズを公募する。当該技術シーズを有する事業者に対して業務委託することで先導研究を実施し、有望な技術を育成する。

公募期間：2024年2月1日～4月1日

☆NEDO：「2024年度脱炭素化・エネルギー転換に資する我が国技術の国際実証事業（実証要件適合性等調査）（第1回公募）」

https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100230.html

分野等：S+3E（安全性、環境適合+脱炭素化、経済性、安定供給）の実現に資する日本の先進的技術の海外実証を通じて、実証技術の普及に結び付ける。さらに、制度的に先行している海外のエネルギー市場での実証を通じて、日本への成果の還元を目指す。これらの取組を通じて、日本のエネルギー関連産業の国内外への展開、国内外のエネルギー転換・脱炭素化、日本のエネルギーセキュリティに貢献することを目的としている。

公募期間：2024年2月22日～3月25日

☆総務省（業務実施機関：（株）角川アスキー総合研究所）：「令和6年度スタートアップ創出型萌芽的研究開発支援事業 ICTスタートアップリーグ」

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000393.html

分野等：先端的なICTを創出・活用する次世代の産業の育成を目指し、公募を経て選ばれた、起業や事業拡大を目指す個人またはスタートアップによる、ICTに関する研究開発に対して研究開発費を支援するとともに、全国各地・各分野の支援機関ネットワークを活用した伴走支援を行い、官民の役割分担の下、芽出しの研究開発から事業化までの一気通貫での支援を実施する。

公募期間：2024年2月21日～3月31日

【研究開発関連以外】

☆上記以外の情報については、下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を

掲載していますのでご覧ください。

東海生研ホームページの NEWS (お知らせ) の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆ 農業資材

○ 酵素パワーで生分解性プラスチック製品の分解を加速

- 農業用マルチフィルムの鋤き込みで効果を実証 -

農研機構農業環境京急部門は、生分解性プラスチックを分解する酵素を用いて、野菜の栽培に使う耐久性の高い生分解性農業用マルチフィルムを、畑に敷いたまま、分解を加速させる方法を実証しました。フィルムは、酵素を散布処理した翌日には強度が下がり、壊れやすくなるため、土の中へ鋤(す)き込み、分解を促す処理が容易になります。これにより、生分解性プラスチックを使用者が望むタイミングで分解を促進できれば、処理労力を画期的に低減できるため、利用場面が広がり、ごみの削減に役立ちます。

・ 農研機構 HP:

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/niaes/158894.html

☆ 花き関係

○ 新しい鉢花「ビジューマム」

マーガレットとローダンセマムの交配に世界で初めて成功し、従来にない鮮やかな花色、鉢物や花壇苗に適したコンパクトな草姿の「ビジューマム」シリーズを育成しました。「ビジューマム」の特徴は、(1)1月から6月にかけて開花します、(2)既存のマーガレットやローダンセマムと異なる鮮やかな花色が特徴です、(3)コンパクトな草姿のため鉢物・花壇苗の用途として生産、観賞できます。「ビジューマム」の生産は、静岡県と契約した生産者によって令和4年から生産が開始され、全国に出荷されています。

・ 静岡県 HP:

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/izunogyo/1047867.html>

.....

編集後記

2023年度もあと1か月を切りました。もう少しすれば、桜の便りが聞かれてきます。桜の開花には、冬の寒さと春に向けて暖かくなっていく気温が影響しています。今年の開花予想は、平年より早いか平年並みとされています。年度内にやらなければならないことも多いと思われませんが、計画的に仕事を進めて落ち着いた気分で花見をしたいものです。さて当研究会は、今年度、セミナーなどのイベントを開催し、また、技術相談等への対応をしてきました。皆様方にはこれらの活動にご理解、ご協力をいただき感謝いたします。来年度も産学連携、事業化等の様々なご要望に対応させていただきますので、よろしくお願いいたします。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録 (無料) ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>